

学校ホームページ作成マニュアル



旭川市教育委員会
平成19年4月

目次

目次	1
はじめに	3
1 このマニュアルの目的	3
2 ホームページに掲載して良いもの・悪いもの	3
3 サポート(ヘルプデスク)	3
ホームページビルダーについて	4
1 ホームページビルダーとは	4
2 ホームページビルダーのインストール	4
ホームページの作成手順	5
1 「ひな形」をパソコンに取り込む	5
2 「サイト」の作成	10
3 「ひな形」をしてみる	13
4 「ひな形」を編集する	14
(1)編集が必要なファイルとは	14
(2)トップページの編集	15
(3)画像リサイズ(サイズ変更)とトリミング(必要な部分の切り出し)のしかた	18
(4)メニューページの編集	27
(5)校名表示の部分の編集	30
(6)そのほかのページの編集	43
(7)ボタンを作る	49
(8)リンクの張り方	51
5 編集したホームページを確認する	52
(1)ブラウザで確認	52
(2)「学校ホームページ」フォルダの中身を整理する	53
ホームページの公開	55
1 編集したホームページを公開する(アップロードする)	55
(1)転送の設定	55
(2)初めての公開(または「ひな形」を編集したデータとの差し替え)	57
(3)「FTP ツール」を使ったサーバー上のファイルの管理	58
ホームページの管理	59
1 ホームページの更新作業	59
(1)更新のタイミング	59
(2)作成済みのページを更新	59
(3)新たにページを作成して更新	60
2 校内分掌の中での引き継ぎ	60

ホームページの仕組みについて	61
1 ホームページとは	61
2 HTML 言語で書かれている...	62
ホームページのデータは「HTML ファイル」	62
3 掲載して良いもの・悪いもの	62
4 ガイドライン	62
5 メールアドレス, 掲示板や BLOG について	63

1 はじめに

■ 1 このマニュアルの目的

このマニュアルは、いわゆる「ホームページ(以下、HP という。)初心者」の先生でも学校の HP を開設できるようにすることを目的としています。そのため、作成環境を限定しています。使用するプロバイダ(インターネット接続業者)は「学校インターネット」で利用している「ポテト」であり、HP 開設(更新)作業は「学校から」するものとし、HP 作成のためのソフトウェアは「ホームページビルダー 11 (または以前のバージョン)」です。場合によっては「ホームページビルダー」を新たに購入する必要があるかも知れません。

つまり、それ以外の環境での「HP 管理」を想定していません。例えば、「HP 管理担当者」が自分の家から自分で契約しているプロバイダーでインターネットに接続し、「ホームページビルダー」以外のソフトウェアを使用して「学校 HP 」を開設(更新)するための手順は記載していません。使用する「ホームページビルダー」も、このマニュアルを作成している段階では最新バージョンが 11 です。ので、それをもとに解説をします。

もちろん、ある程度 HP 開設や更新に関する知識や技能をお持ちでしたらその限りではありません。より、魅力的な学校 HP にしていただいで結構です。ただし、「HP 管理担当者」が変わったときの場合を考えておく必要があります。

■ 2 ホームページに掲載して良いもの・悪いもの

HP では様々な形態のファイルを公開することができます。「文字」、「写真データ」、「画像データ」、「動画データ」、「音声データ」...。「ひな形」をもとに各学校の HP を作成・更新していくわけですが、自分の学校の HP に何を載せて良いのか、何は載せたらいけないのか、十分に注意する必要があります。最近では、児童・生徒が簡単に HP や BLOG を作成できるサービスがあり、その HP や BLOG での「誹謗・中傷」が問題になったりしています。当然、「学校」が HP で「情報を発信」する以上、その発信する内容については、十分にプライバシーや、個人情報、公共性について吟味する必要があります。

■ 3 サポート(ヘルプデスク)

本マニュアルを参考にしながら各学校でホームページを作成する場合、作成の過程で、本マニュアルの表記ではよくわからない、ここはどうなっているのか?などの疑問や、ホームページビルダーの具体的な操作方法について疑問点が出てくると思われます。その場合はまず、「ホームページビルダー」に添付されている本来のマニュアルを良くお読みください。それでもわからない場合や設定がうまくできないようなトラブルや、サーバーやインターネットの技術的な問い合わせなどは、旭川市教育委員会学務課までお問い合わせください。

II ホームページビルダーについて

本来、HP とは、「HTML 言語」という記述のルールに従って構成されているテキスト(文字データ)ファイルです。極端な話、HP を作成するには、Windows でいう「メモ帳」や「ワードパッド」などの、文字を入力する機能だけの最低限のワープロソフトがあれば、作成可能です。

しかし、HTML 言語で HP を作成するには、相当な慣れと経験が必要で、それが初心者には大きな壁となっていました。

そこで、もっと簡単に HP を作成できるためのツールとして、HP 作成ソフトが生まれました。

■ 1 ホームページビルダーとは

「ホームページ・ビルダー(以下、「HPB」という。)」は、「IBM」(日本アイ・ピー・エム株式会社)で発売している HP 作成ソフトです。HP 作成ソフトの種類にはたくさんありますが、現在最も普及しているソフトと言っても過言ではありません。毎年のようにバージョンアップを重ね、最新バージョンは平成 18 年の 12 月に発売された「バージョン 11」が最新です。初心者から上級者まで幅広く対応した製品で、HP 作成・更新のために必要な様々なツールもセットになっています。これ一つあれば、HP 上に表示させる画像の編集までできてしまいます。このマニュアルでは、HPB 11 を使いながら説明しています。

価格は、販売店によって変わりますが、「通常版」で1万数千円です。「教職員向け」「バージョンアップ版」なら更に安くなります。

HPB が導入されていない学校でも、あるいは導入されているけどバージョンが古いという学校も、ぜひ、事務の先生に頼んで最新版を購入してください。



ホームページ・ビルダー 11

■ 2 ホームページビルダーのインストール

ソフトをが準備できたら、学校の教師用 PC にインストールします。この場合の教師用 PC は、「学校からインターネットに接続できる」PC でなければなりません。インストール自体はとても簡単で、CD-ROM を挿入すると自動的にインストールメニューが立ち上がるので、それにしたがってマウスをクリックしていただくだけで完了します。

インストールの仕方については、「ホームページ・ビルダー Ver11」のマニュアルの P.32 (Ver.10 のマニュアルでは P.4)から詳しく説明があるのでここでは省略します。

ここで注意していただきたいのは、著作権です。ソフトは、普通、箱に入って販売されていますが、その一箱は、1台の PC にのみインストール可能で、1人が使うことのみが認められています。むやみに複数台の PC にインストールすることは、著作権違反になりますので、複数の PC で使用する場合には、必要な分ソフトを購入するか、ライセンス契約(複数台で利用する権利)を購入する必要があります。



ホームページ・ビルダー 11 の起動画面

III ホームページの作成手順

これからいよいよ、HP ひな形の編集です。「ひな形」をパソコンにコピーし、その一つ一つのファイルを、自分の学校に合った内容に編集し保存していきます。編集作業が終わったら、それを「HP 公開用の特別な場所」(WEBサーバー)に転送することで、HP の公開となります。

すでに HP を開設している学校においては、現在のトップページそのまま継続することは構いませんが、別に提案する「ガイドライン」に沿った物になるよう、内容を変更していただくことになります。



ひな形は北都中学校HPになっています。

■ 1 「ひな形」をパソコンに取り込む

まず、HP管理用の学校内のパソコンの1台を、決めます。このPCには、インターネットにつながること。HPBがインストールされていること。HP管理者が異動してもつぎの管理者が操作できること。が最低条件となります。

ア) 決めたHP管理用パソコン(以下、「HP管理PC」と略)の任意のフォルダを作成する。

ここでは「Dドライブ」に「学校HP」という名前のフォルダを作成します(フォルダ名は任意です)。「マイコンピュータ」「D:」で「Dドライブ」を開きます。

「ファイル」「新規作成」「フォルダ」とマウスを進めます。

新しいフォルダの名前には「学校HP」と入力します(何でも良い)。



イ) 作成したフォルダを開きます。

もちろん、フォルダ内は「空」です。

この、「空のフォルダ」は閉じないでおきます。



ウ)「スタート」「マイコンピュータ」とたどり、配布された「ひな形」があるフォルダを開きます。

エ)「ひな形」フォルダの「編集」「すべてを選択」をクリックします。

「ひな形」フォルダのすべてのファイルが反転します。

オ)「ひな形」フォルダの「編集」「コピー」をクリックします。

カ)先ほどの「学校HP」フォルダをアクティブにします。(フォルダをクリック)

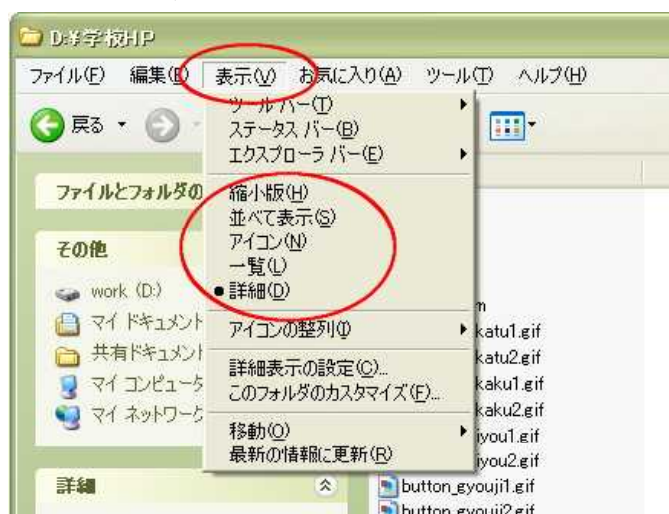
キ)「学校HP」フォルダ上の、「編集」「貼り付け」をクリックします。

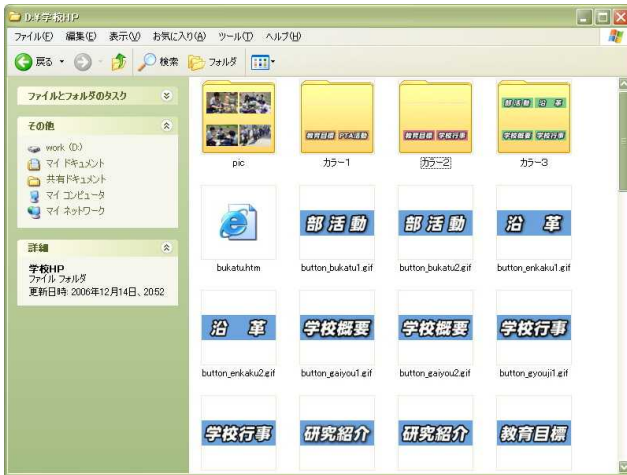
これで「学校HP」というフォルダに「ひな形」データのコピー(PCへの取り込み)が完了します。

hint1 フォルダの中のファイルの「表示」を工夫しましょう。

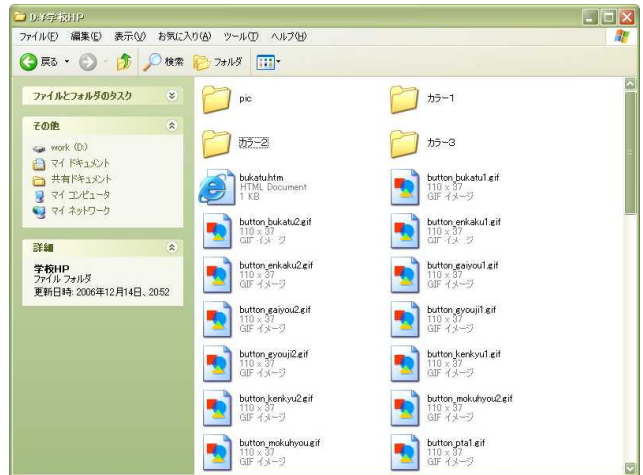
「学校HP」フォルダの中には、様々な種類のファイルがごっちゃになって保存されています。見やすくしておく、後からフォルダの中を整理するのに役立ちます。

フォルダを開いた状態で、[表示]をクリックするとサブメニューが開きます。この中の、[縮小版]、[並べて表示]、[アイコン]、[一覧]、[詳細]のどれかを選択することによってフォルダの内容の表示方がらっと変わります。

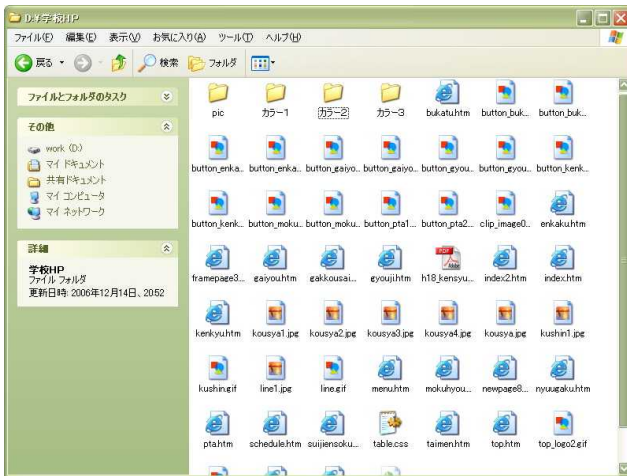




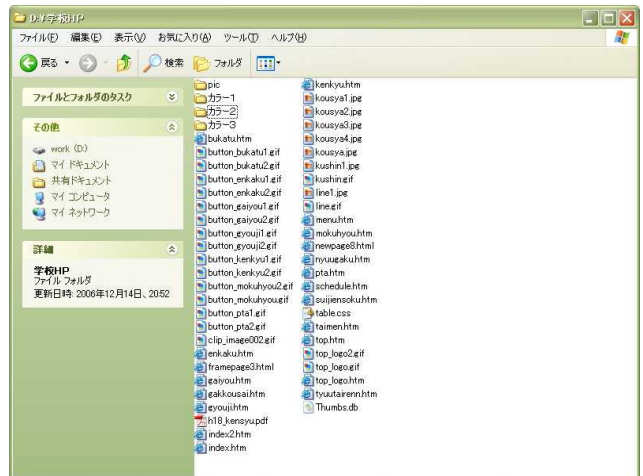
縮小版



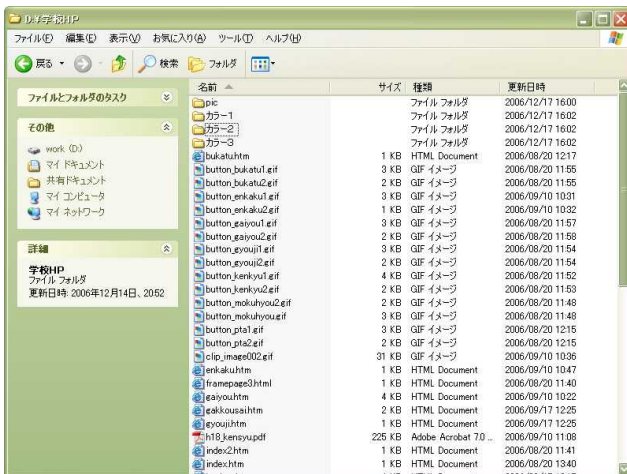
並べて表示



アイコン



一覧



詳細

さらに、「見出し行」の[名前],[サイズ],[種類],[更新日時]と表示されているところをクリックすると、「名前のアイウエオ順表示」とか、「サイズの大きい物順の表示」に瞬時に切り替わりますので、目的のファイルを探したりするときに便利です。

hint2 「拡張子」を表示させる

さらに、[フォルダオプション]を適用して、ファイルの拡張子を表示させておくと、さらに目的のファイルを探しやすくなります。

[ツール] [フォルダオプション]です。



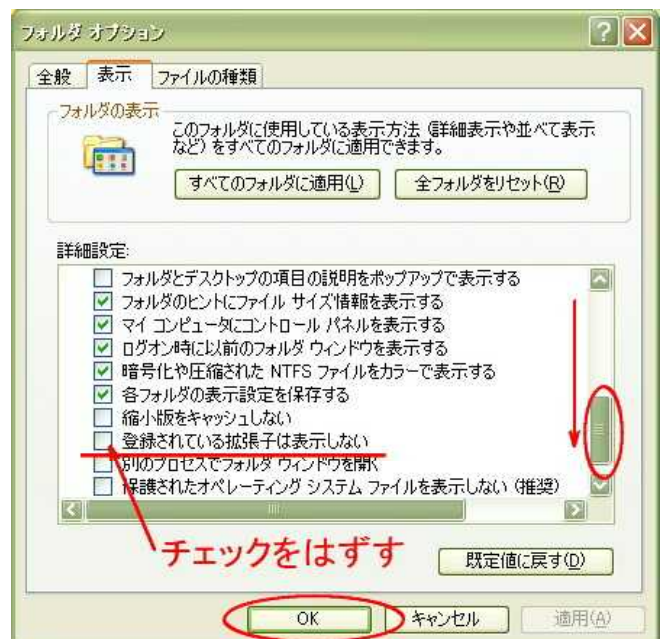
「フォルダオプション」が開きます。上の方の[表示]タブをクリックします。



「詳細設定」をしたにスクロールし、

[登録されている拡張子は表示しない]の左前のチェックをはずします。

[OK]をクリックします。



■ 2 「サイト」の作成

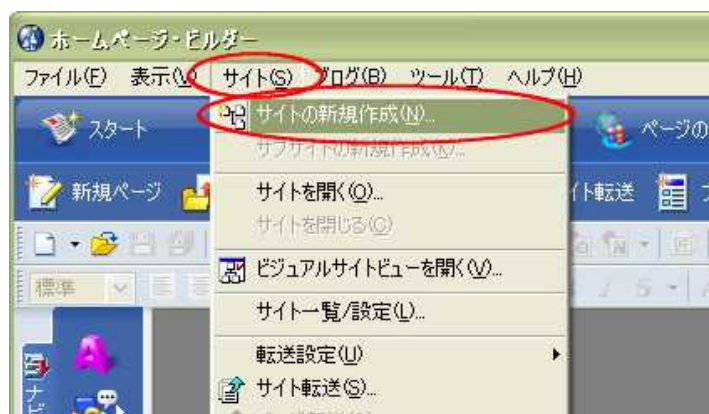
HP管理PCに「ひな形」をコピーしただけではもちろんHPは発信されていません。コピーされた「ひな形」をもとに、自分の学校に合うように編集し、その後WEBサーバーにHPデータを転送することが必要です。

HPBではWEBサーバーに転送すべきファイルの集合体を「サイト」と呼んでいます(「WEBサイト」とは少々意味が違います。)。 「サイト」をHPBに認識させる作業が「サイトの作成」です。「学校HP」フォルダには、実際には使用しないファイル(使わなかったボタン、写真、バックアップファイルなど)も存在します。これらは公開するHPには必要ありません。実際に公開するために必要な様々なファイルの集合体が「サイト」です。では、使わないファイルと使うファイルを選別する必要があるのかといえ、その必要はありません。HPBが自動的に公開に必要なファイルを選んでくれます。それが、「サイト」です。

サイトについて詳しくは、バージョン11ではマニュアルの第13章、Ver.10では第11章をご覧ください。

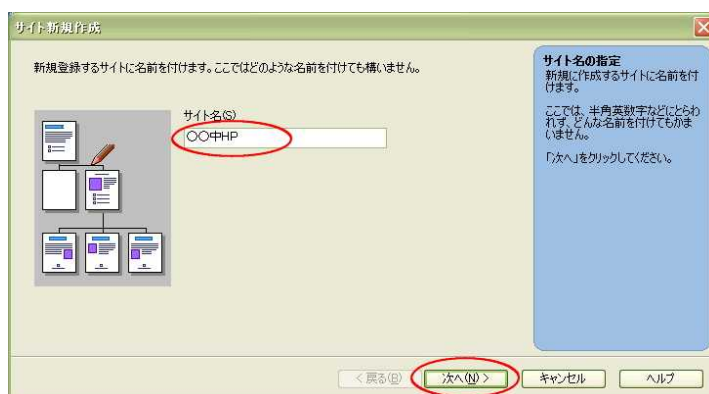
サイト：一般的にはあるテーマに沿ったWebページ全体を指して「サイト」と呼ぶ。HPBでのサイトは意味合いが少々違って、HP管理者がWebに転送するために編集しているパソコン内のフォルダを「サイト」と呼んでいる。

ア) [サイト] [サイトの新規作成]



イ) サイト名を入力、次へ。

サイト名は通常、「 中 HP 」で構いません。PCに複数のサイトがある場合に区別するための名前です。



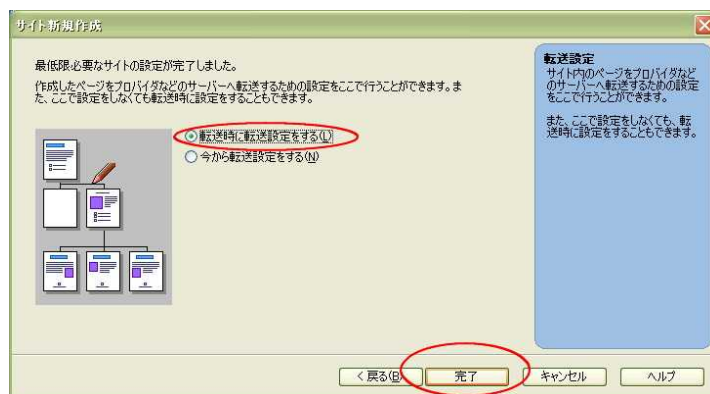
ウ) トップページを指定。

既存ページをトップページとして使用します。この場合、Dドライブの「学校HP」フォルダにある、「index.html」を選びます。



エ) 今は転送設定をしない。

[完了]を押します。

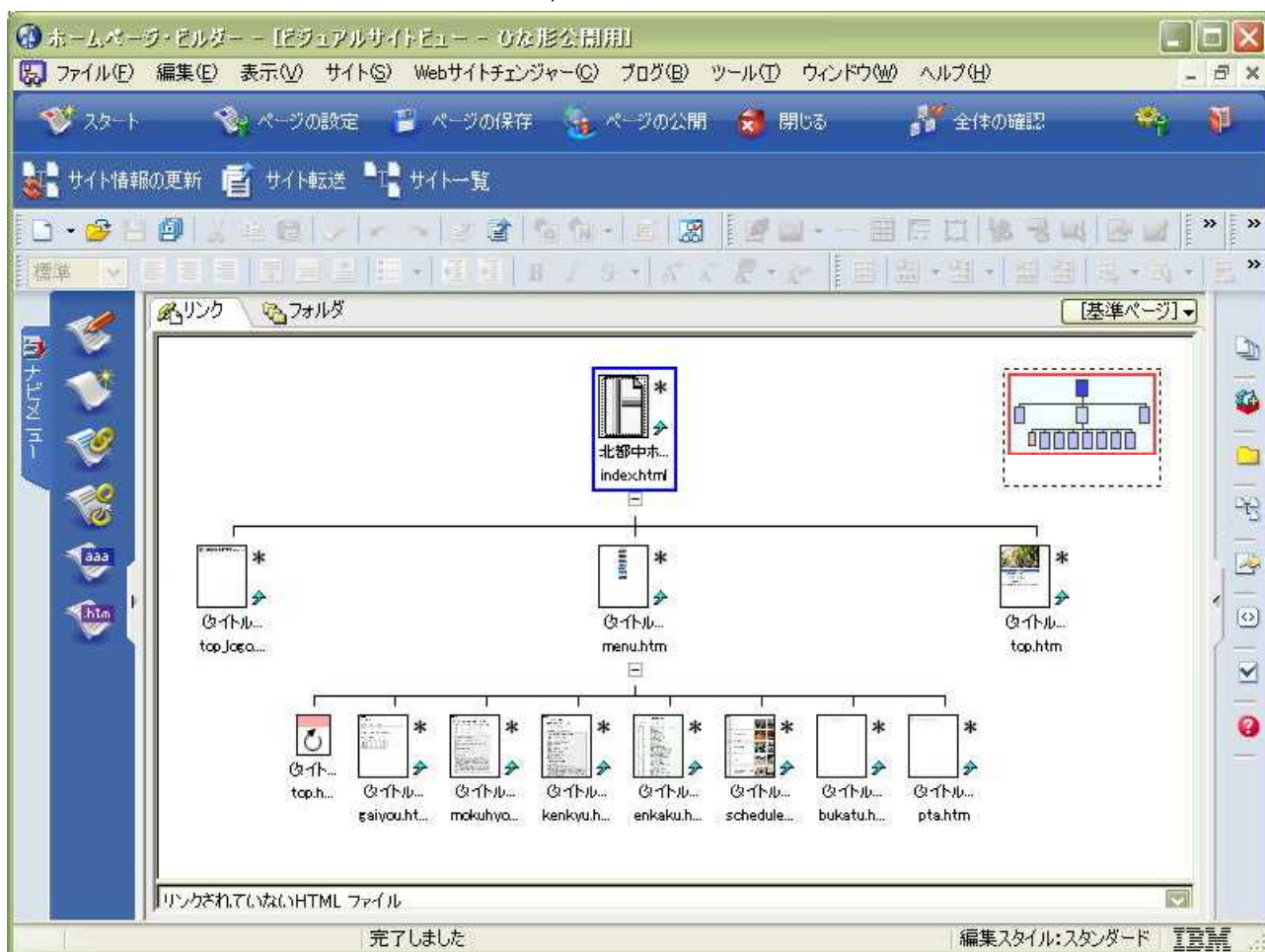


オ) サイトが完成し「ビジュアルサイトビュー」が開く。

サイトが完成すると、下の図のようにまるで家系図のような画面が表示されます。この画面を「ビジュアルサイトビュー」と呼びます。一番上にあるのがトップページです。線でつながっているのは、そこからリンクが張られている(マウスのクリックで違うページにジャンプする)ページです。

ページです。線でつながっているのは、そこからリンクが張られている(マウスのクリックで違うページにジャンプする)ページです。

ビジュアルサイトビュー:
「サイト」という管理のしかたは以前のバージョンにも存在しますが、サイトを視覚的に見やすくしたビジュアルサイトビューは、バージョン7以降から登場していません。



ビジュアルサイトビュー



ビジュアルサイトビュー内では、ページを示すのに左のようなアイコンが使われています。そのページの縮小版になっているので、なんとなくどのページなのかがわかるようになっています。



トップページ(index.html)やそのほかのいくつかのページは、左のようなアイコンで表示されています。このアイコンは、そのページが「フレームページ」で構成されていることを示しています。フレームページとは、一つのページをふたつ以上に分割して、全体で一つのページを構成させるHP作りのテクニックです。

例えば、ひな形のトップページは下の図の赤線のように、「T字型」に分割されています。



こうすることにより、左のメニューのボタンのどれかを押すと、右下の一番広いフレームに新しいページが表示されるようになります。いつもメニューをサイドに表示させておきたいときなどに便利です。また、一番上の学校名は常に変わりません。

■ 3 「ひな形」をしてみる

HP 管理 PC にコピーした「ひな形」を、まずは実際に見てみましょう。HP 用の文書は、別にインターネットにつながってなくても、パソコン上に保存してあるファイルも、インターネットエクスプローラなどのブラウザを使って、閲覧することができます。

ブラウザ: HP 等の Web データを閲覧するためのソフトウェアの総称。Windows には標準で「Internet Explorer」が使える。そのほかにも、「Opera」や「Firefox」など、様々なブラウザがあり、ほとんどの場合、無料。ダウンロードし、インストールすることで使えるようになる。

ア) ひな形を保存したフォルダを開く

「マイコンピュータ」を開き、「ひな形」を保存したフォルダを開きます。

イ) その中の、「index.html」をダブルクリック

インターネットエクスプローラが起動し、「ひな形」の最初のページが表示されます。「ひな形」は、「ひな形」用に作成された「北都中学校 HP」という設定になっています。(実際の北都中学校の HP とは違います。)

この画面を表示しているファイルのファイル名が、「index.html」だということを覚えておいてください。「index.html」は「トップページ」とも呼ばれ、その学校の HP を開いたときに最初に表示されるページのファイル名です。

パソコンの設定によって表示されないこともありますが、次のような表示が出た場合は、黄色の部分をクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可」を選択してください。



ウ) いろいろクリックしてみる

画面左の の部分、「学校概要」、「教育目標」、「研究紹介」などの「ボタン」をクリックすると、 の部分にそれに対応した内容が表示されます。 の部分は常に表示されています。

すなわち、この「ひな形」の「index.html」は、右の図の赤い線で示すような、「T字型」の構造をしていることがわかります。このような構造を「フレーム」と呼びます。T字型に仕切られた一つの画面の中に、メニュー、メニューに対応した内容、常に表示、の3種類のファイルが表示されているわけです。

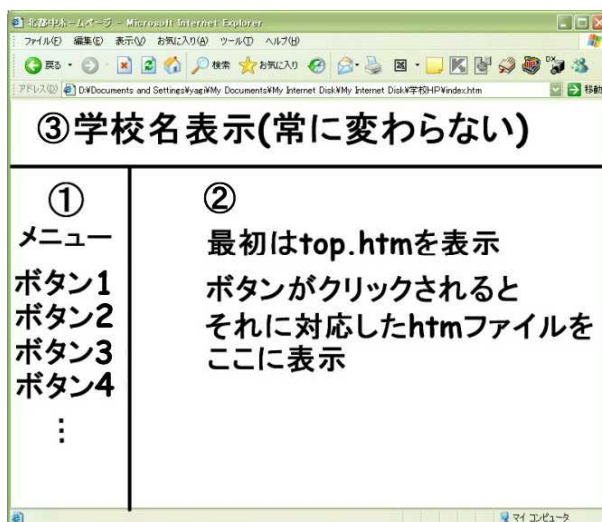


エ)ここで言う、「index.html」とは

「index.html」を開くと、の部分にはメニューが表示されます。の部分には、メニューでクリックした内容が表示されます。の部分は常に変わりません。

「ひな形」では、の部分には「menu.htm」というファイルを表示し、の部分には、最初に「top.htm」というファイルを表示したあと、でクリックされた内容を表示するようになっています。の部分には、「top_logo.htm」というファイルを表示し、これは常に変わりません。

右側にはメニュー、左側にはその内容、上には、学校名。それらを表示するように区分けが設定されているわけです。これを「フレーム表示」と呼びます。「ひな形」の場合、「index.html」には、「フレーム」という仕掛けがしてあるわけです。もちろん、HPの作り方によっては、フレームを使わないやり方もあります。



■ 4 「ひな形」を編集する

「ひな形」の構造がある程度理解できたところで、いよいよ、「ひな形」の編集です。

(1)編集が必要なファイルとは

ア)編集が必要なファイル

とりあえず最低限の編集をして公開したいときは、基本的なデザインや色、配置などは変更せず、学校名や校章、記事のタイトルや内容だけを編集すればよいことになります。

例えば、トップページの左側のメニューはそのまま使うことにして、メニューにあるボタン、「学校概要」、「教育目標」、「研究紹介」...などのリンク先のページを自分の学校の実態に合うように編集すればよいのです。

イ)「ひな形」をそのまま自分の学校に置き換える場合

編集が必要なファイル一覧です。

ファイル名	内 容	ファイル名	内 容
index.html	フレーム HP(学校名の変更)	kenkyu.htm	研究紹介
menu.htm	の部分	enkaku.htm	学校の沿革
top_logo.htm	の部分(校章校名の変更)	schedule.htm	学校行事(年表形式)
top.htm	の部分(写真校名の変更)	bukatu.htm	部活動紹介(項目のみ)
gaiyou.htm	学校概要	pta.htm	PTA 活動(項目のみ)
mokuyou.htm	教育目標		

このほかに、写真データや画像データも編集や加工、新規取り込みが必要になってきます。

ウ)「ひな形」の内容よりも項目を減らしたい場合

例えば、「研究紹介」はいらぬ、と考えるなら、メニューページ(menu.htm)をHPBで編集し、メニューの中から「研究紹介」のボタンを削除してから上書き保存します。もちろん、「研究紹介」そのもののページ(kenkyu.htm)も必要なくなります。(Webサーバーに転送する必要がない。)

また、「今は詳細を発表できないけど、後から載せたい」というような場合は、「menu.htm」の「研究紹介」のボタンは残しておいて、ボタンをクリックしたら表示される「kenkyu.htm」の内容は、「工事中」とか、「comingsoon」などと表示するように編集することもできます。

エ)「ひな形」の内容よりもメニュー項目を増やしたい場合

例えば、「ひな形」にはない、「学校便り」というページを追加するとします。

まず、ア)のメニューページ(menu.htm)を編集し、新しく「学校便り」というボタンを追加することが必要です。ボタンそのものは、画像データですので、新しく画像を作らなければなりません。すでにあるボタンのデザインや大きさを元に、新しいボタンを作る作業が必要になります。あるいは、これを機会に、すべてのボタンを作り直すという手もあります。HPBには、ボタン作成のための便利なツール、「ウェブアートデザイナー」がありますのでそれを使うと便利です。

ボタンができたら、次に、「学校便り」そのものを表示するページをの中に表示されるように作らなくてはなりません。ここで考えなければいけないのは、「どのような表示にするのか」です。画像ファイル形式にするのか、PDFにするのか、テキスト(文字データ)形式にするのか…。(作成方法についての詳細はここでは説明を避けます。)

そして、「リンクを貼り」ます。「menu.htm」の「学校便り」というボタンをマウスでクリックしたときにの部分に実際に学校便りが表示されるように仕掛けを設定するわけです。このことを「リンクを貼る」と言います。

オ)ちょっと違うデザインにしてみたい場合

慣れてきたら、デザインやページの構成も変えたくなくとも思います。ここでは目的からそれるのでそのための説明は割愛します。本マニュアル後半の「もう一工夫」のためのアドバイスも参考にしてください。HPBには、HP作成のための便利なツールもたくさん付属していますから、HPBのマニュアルを良く読み、挑戦してみてください。

画像ファイル形式:紙に印刷された文書をスキャナで読み込んで画像ファイルとして保存するというやり方です。一方で一太郎でもワードでも、スキャナを使わずに編集中の文書を「画像として保存する」という機能があります。文書データではなく、画像として出力するので、パソコンの画面で見えるままの画像ができあがります。

PDF:「アドビシステムズ」で開発した文書の保存形式です。画像形式で保存するよりも、見やすく、拡大してもギザギザが目立ちません。

(2)トップページの編集

では、まず、トップページの右下の部分、「top.htm」を編集してみます。HPBを起動し、「ようこそ画面」では、「どこでも配置モード」を選びます。

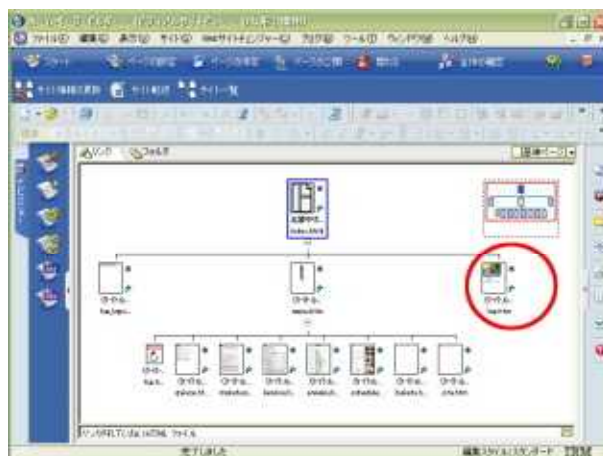
ア)[サイト] [サイトを開く]で、編集したいサイトを選び、[開く]をクリック。

ビジュアルサイトビューが開きます。



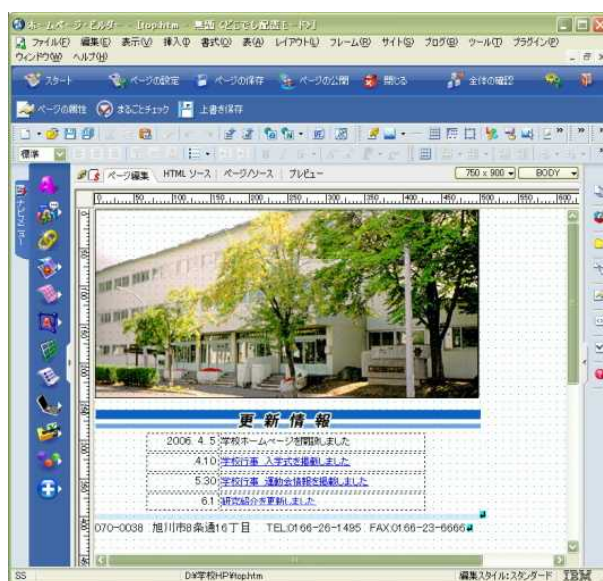
イ)「top.htm」をダブルクリック。

ビジュアルサイトビュー機能のないバージョンをお使いの場合は、[ファイル] [開く]で、「ひな形」をコピーしたフォルダの中にある「top.htm」を開けばOKです。



ウ)「top.htm」が編集モードになって開く。



ここで編集したいことは3つ。・校舎の写真の変更。・更新情報の変更。・一番下の学校住所等の変更。



まず、更新情報の変更をします。一番上にある日付のあたりをクリックします。水色の囲みが出てきます。(編集できる)

カーソルを動かして、「2006. 4. 5」(文字はすべて半角)を希望の日日に変更します。(開設目標日ですね！)

2行目以降は今現在は必要ありません。新しい情報を更新したときに増やせば良いのです。この「更新情報」は、点線で囲まれています。横2列、縦4行の「表形式」になっています。HPBでは、Excelと同じように、「行の削除」ができます。削除したい行をマウスでクリックします(2列あるうちのどちらのセルでも構いません。水色で囲まれます)。

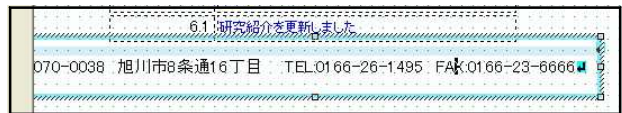
メニューバーの[表] [行の削除]をクリックするか、ツールバーの  (行削除アイコン)をクリックすることで選択した行が削除されます。複数の行を削除する場合は、何度かクリックします。また、謝って削除した場合は、メニューバーの[編集] [元に戻す]、あるいはツールバーの  (元に戻すアイコン)をクリックすることで元々の状態に戻すことができます。

とりあえず、「学校ホームページを開設(更新)しました。」の一行だけがあればよいでしょう。更新作業をして新たな新着情報を追加したい場合は、1行目を選択(水色の囲み)状態にしてから、メニューバーの[表] [行の追加]を行えばOKです。



次に、学校住所などの変更を行います。

画面一番下の、郵便番号・住所・電話番号が表示されているあたりを何度かクリックして、水色の囲みを表示させます。この時、クリックしていたあたりに縦線で「カーソル」が表示されます。



後は、カーソルを移動させて適切な情報に変更します。住所等がひな形より短くなる場合は、「センタリング」(メニューバーの[書式] [位置揃え] [中央揃え])したり、長くなる場合には2行にしたりすることもできます。

更新情報と学校住所などの文字の編集が終了したら、[上書き保存]をクリックしてHPBをいったん終了します。

次に、校舎写真の変更。これには少々テクニックが必要です。

まず、表示させる画像を用意しなければいけません。デジカメで実際に校舎を撮影するか、「学校要覧」などの校舎写真をスキャナで読み込むなど、「画像データ」が必要です。画像データの「形式」には、「bmp」、「jpg」、「gif」など、様々ありますが、ここではどのような形式でも構いません。

デジカメで撮影した、下の北門中校舎画像をサンプルとして使います。



北門校舎写真(オリジナル画像jpg形式 1600 × 1200 ドット, 862 Kbを縮小して掲載)

このようなデジカメ写真(あるいはスキャンした図など)を、そのままHPに使っても良いのですが、サイズ(ドット数とファイルの大きさ)が大きすぎです。サイズが大きいと、それだけ読み込みに時間がかかることになり、つまり、写真や画像が表示されるまで待たされることになります。(もちろん、HPを見る人の接続環境に左右されます。)最近のデジカメでは、高画質化が進み、1枚の画像のサイズが膨大になることも少なくありません。HPに掲載するだけの写真でしたら、初期のデジカメの35万画素等で、充分です。

印刷するなら別として、パソコンのディスプレイの表示させるだけならこれほど大きなサイズの画像は意図がなければ必要ありません。リサイズ(この場合は縮小。見た目の大きさを変更するのではなく、データそのもののサイズを減らす作業)が必要になります。HPBでは、画像ファイルのリサイズもできるツールが備わっています。

(3)画像リサイズ(サイズ変更)とトリミング(必要な部分の切り出し)のしかた

「ひな形」で使われている校舎画像用のスペースは500 × 250(ドット)です。そのサイズに合わせる必要があります。

画像を編集するために、HPBのツールである「ウェブアートデザイナー」を使います。ウェブアートデザイナーは、単体でも起動します。もちろん、使い慣れた画像編集ソフトがある場合には、その限りではありません。

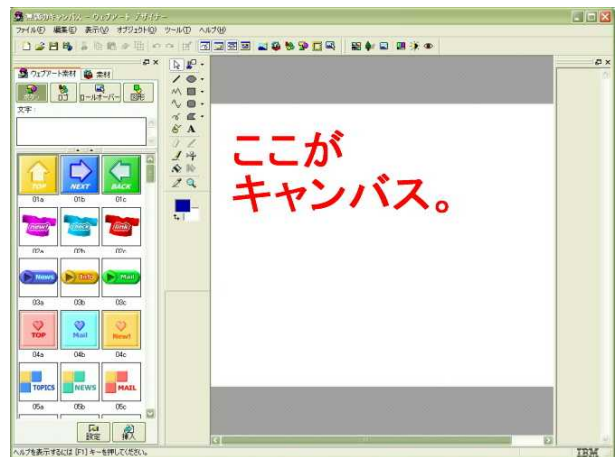
ア)パソコンに校舎写真などのデータを取り込む。

取り込む場所は「マイピクチャ」、「デスクトップ」等、任意の場所で構いません。

イ)ウェブアートデザイナーを起動。

[スタート] [すべてのプログラム] [IBM ホームページ・ビルダー 11(10)] [ツール] [ウェブアートデザイナー]で起動します。

または、HPB を起動させた状態で、メニューバーの[ツール] [ウェブアートデザイナーの起動]でも同じです。

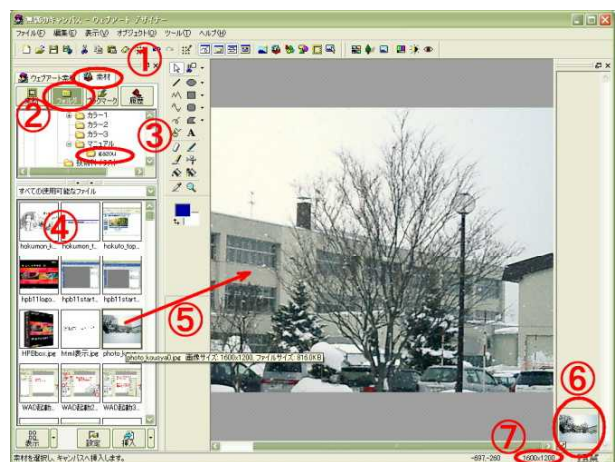


ウェブアートデザイナーの起動画面

ウ)写真を読み込むため次の操作をする。

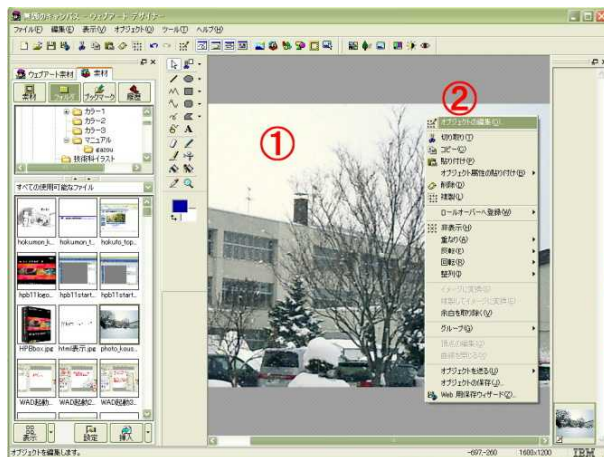
素材をクリック フォルダをクリック
使いたい写真(図)を保存したフォルダをクリック
フォルダ内の画像一覧が表示される
使いたいファイルをドラッグ(キャンバス上にマウスでつまんで移動し、離す) キャンバス上に写真が表示され 右下に表示されているオブジェクトが表示される オブジェクト(この場合写真データ)の大きさを確認。

同じ操作は、[編集] [ファイルから貼り付け]でもできます。



エ)リサイズする(この場合は縮小)。

写真画面上で右クリック (イ)メニュー表示,「オブジェクトの編集」をクリック。



オ)サイズを指定。

「オブジェクトの編集」ウィンドウが表示されます。

X座標に「0」、横に「500」、Y座標に「0」を入力します。X座標とY座標の0,0は、画像の左上の角が起点になっています。で入力した500は、「横幅が500ドット」を示しています。

この時、「縦横比保持」にチェックマークがついていることを確認します。

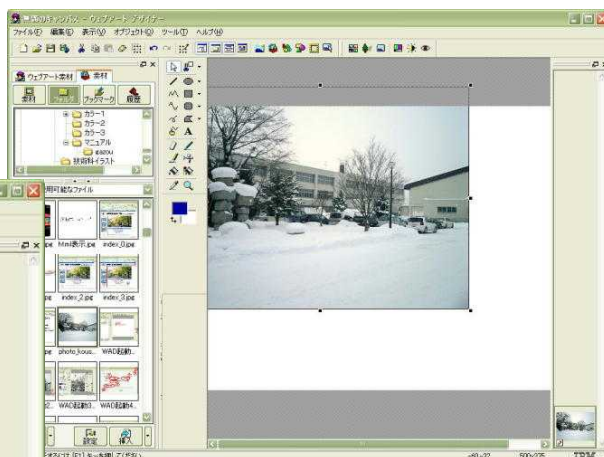
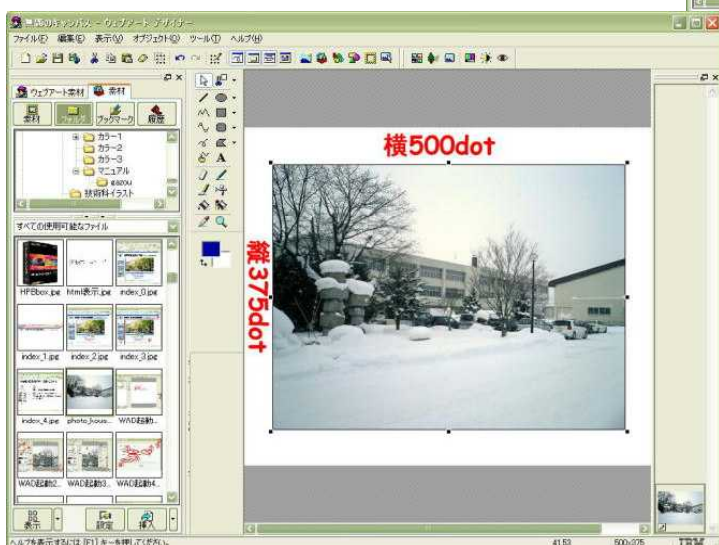
それぞれの数値が正しければ×をクリックします。



これで、「横幅500ドット」へのリサイズが完了します。縦幅が250ドットより大きいので、縦幅250ドットになるように、今度はトリミングすることになります。

もし、右の図のようにリサイズした画像がキャンバスからはみ出しても、画像を選択し(枠で囲まれる),マウスでドラッグすると位置を修正できます。

リサイズの完成



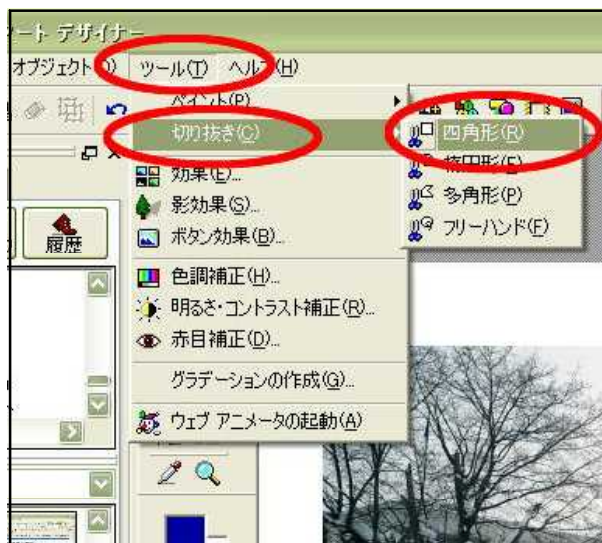
カ) トリミング(好きな大きさに切り取り)する。

リサイズしたことによって横幅は 500dot になっています。次に縦幅を「ひな形」に合うように 250dot にしなければなりません。良く、ワープロなどでも、画像をはりつけたときに四隅にわくがついて、その枠をマウスでドラッグすると大きさを自由に変更することができますが、それでは「縦横比」が変わってしまいます。「縦横比」を変えないまま、任意の部分を切り取ることを「トリミング」といいます。



まず、ウェブアートデザイナーの[ツール] [切り抜き] [四角形]と選んでいきます。

マウスカursorが十字になります。

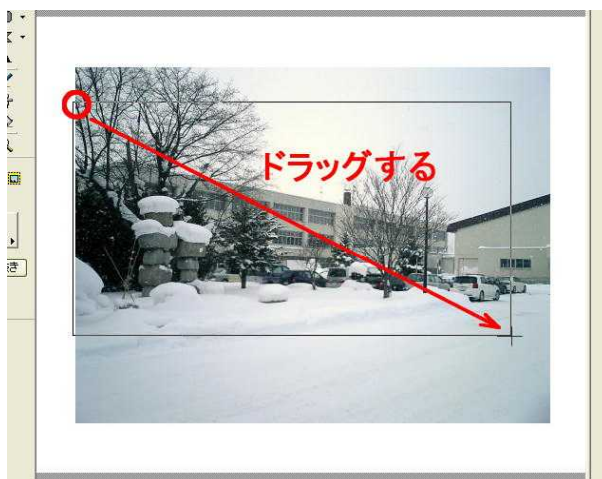


キ) 切り抜く枠の線を引く。

マウスをクリックし、そこからドラッグします。四角い枠が表示されていきます。ドラッグしている間は、ウェブアートデザイナーのウィンドウの一番左下に、下の図のような表示があります。



左から(ドラッグを始めた座標) -> (ドラッグ中の現在の座標) (現在の枠のサイズ)です。マウスを移動中は数字が動きます。現在の枠のサイズが 500 × 250 にちょうどなったところでマウスのボタンから指を離せばよいのですが、多少違って問題ありません。マウスから指を離すと、枠が表示されます。



表示された枠の4つの角と4つの辺の midpoint に「」が表示されています。また、ウェブアートデザイナーのウィンドウの一番右下には、下の図のような表示があります。



これが現在表示されている枠のサイズです。枠に表示されている「」をマウスでドラッグすることによってサイズを自由に変えられます。枠のサイズが 500 × 250 になるようにします。

また、枠そのものをマウスでドラッグするとサイズはそのまま移動することができます。これにより、写真として使いたい範囲を自由に選ぶことができます。

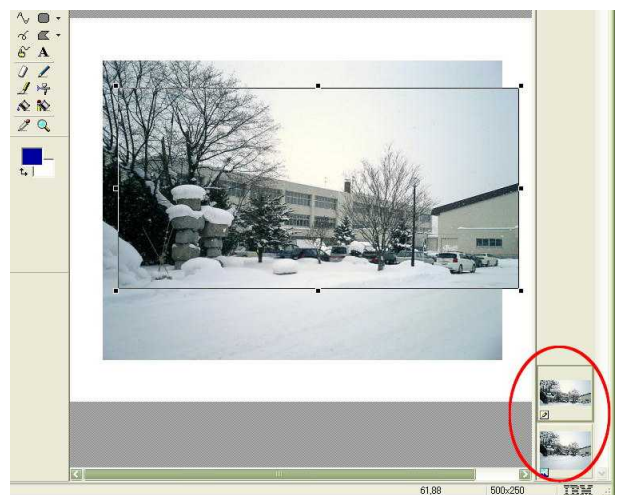


ク)トリミングした範囲の切り抜き。

使いたい範囲を決めたら、「切り抜き」ボタンを押す。



すると、枠で囲んでいた部分の画像が新たに重なって表示される。これが、500 × 250dot で切り取られた画像です。しかも、元の画像は背後に残っています。ウィンドウ右下を見ると、現在2枚の画像を扱っていることがわかります。



新しく切り抜かれた画像は、枠で囲まれている間(選択されている間)は、ドラッグにより移動できます。また、元の画像も残っていますので、切り抜きのやり直しは何度でもできます。切り抜いた画像が必要ないなら、選択されている状態でキーボードの[del]キー(デリートキー)を押せば削除できます。

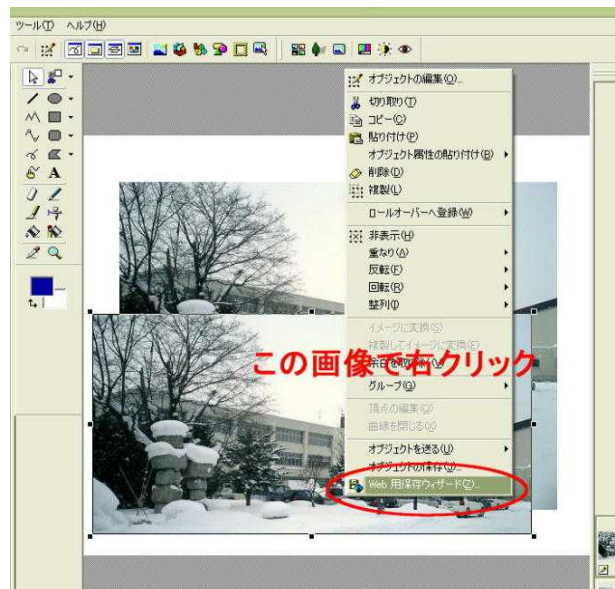
何度かやり直すことになるかも知れませんが、気に入ったトリミングができれば、次にその画像を保存します。



ケ)トリミングした(切り抜いた)画像を保存する。

うまくトリミングができれば、その画像だけを新たにパソコンに保存します。使いたい画像が選択されている状態でその画像を右クリックします。

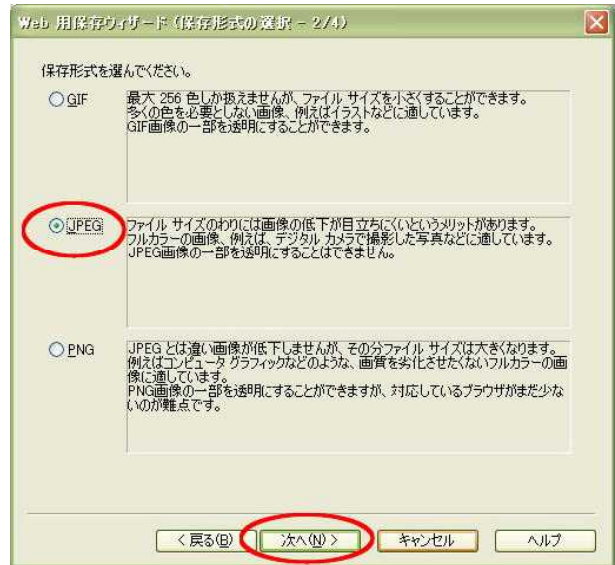
表示されるメニューの中から[Web 用保存ウィザード]を選びます。



「Web 用保存ウィザード (保存対象の選択 - 1/4)」が表示されます。[次へ] ボタンを押します。



「Web 用保存ウィザード (保存形式の選択 - 2/4)」が表示されます。2番目の「JPEG」を選択し、[次へ]ボタンを押します。(どの形式を選んでも構わないのですが、お勧めはJPEGです。)



「Web 用保存ウィザード (JPEG 属性の設定 - 3/4)」が表示されます。[次へ]ボタンを押します。

ファイルサイズをもっと小さくしたい場合は、画面左下のスライダーを操作します。しかしファイルサイズを小さくするということは画像のギザギザが目立つことになるので、ここでは何も設定せず、そのまま、[次へ]をクリックします。



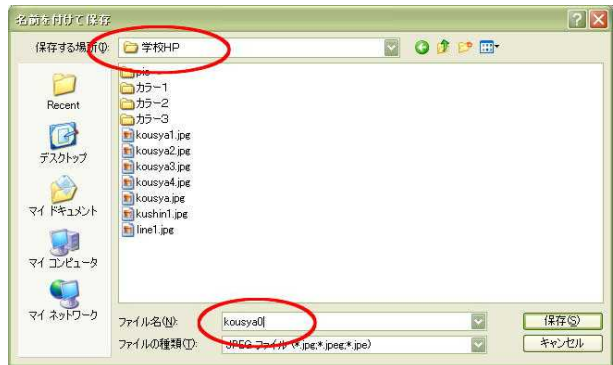
「Web 用保存ウィザード (保存方法の選択 - 4/4)」が表示されます。2番目の「ファイルに保存」に、チェックを入れて[次へ]ボタンを押します。

1番目の「ホームページビルダーに貼り付け」は、現在 HPB で Web ページを編集中の時にウェブアートデザイナーを使用している場合に便利です(ファイル名が勝手に決められてしまうので後から探したいときに不便)。3番目の「パーソナルフォルダに保存」は HPB が用意しているフォルダに保存することです(サイト外の場所に保存することになるので管理しづらい)。



「名前をつけて保存」のウィンドウが表示されます。保存場所は「ひな形」をコピーしたフォルダ(サイト)を選択します。このマニュアルでは「Dドライブ」の「学校HP」フォルダです。

ファイル名をつけます。ファイル名の欄には、「image」と表示されていますが、これを消して、任意のファイル名をつけます。「ひな形」ファイルには校舎(北都中)の画像として「kousya.jpg」ならびに「kousya1.jpg」から「kousya4.jpg」というバリエーションのファイルが存在していますので、それ以外の名前をつけます。ここでは、「kousya0.jpg」と名前をつけましょう。(すでにあるファイルと違う名前でしたらどんな名前でも構いません。)




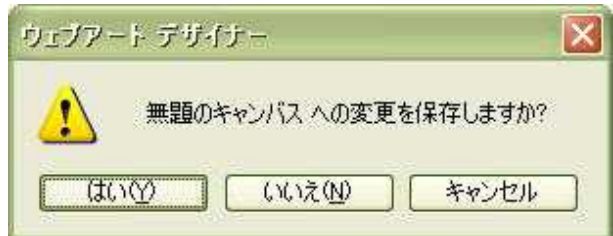
ファイル名:ここで保存した画像ファイル以外にも、インターネット上に公開するファイルのファイル名は基本的に半角アルファベットと半角数字の組み合わせで使うことがマナーとされています。必ず日本語が表示されるパソコンで閲覧しているとは限らないからです。

ファイル名の付け方

「北門校舎.jpg」のような、日本語の名前は避けてください。アキサタ...のような半角カタカナもダメです。ファイル名に使うのは、abcd...のような半角アルファベットと、0123...のような半角数字の組み合わせです。アルファベット小文字を使います。大文字は使いません。

保存ができたなら、[スタート] [マイコンピュータ] 「D:」 「学校HP」とたどり、フォルダを開きます。その中に先ほど保存した、「kousya0.jpg」があることを確認します。「kousya0.jpg」をダブルクリックすると、500 × 250dot の画像が表示されるはずですが、

次に、ウェブアートデザイナーを終了します。ウィンドウの右上のをクリックして終了します。右のような確認メッセージが表示されますが、これは、ウェブアートデザイナーで現在編集中のすべての画像をウェブアートデザイナー形式のファイルで保存しますか? という意味です。トリミングした画像はすでに保存済みなので、ここではウェブアートデザイナー形式のファイルを保存する必要はありません。

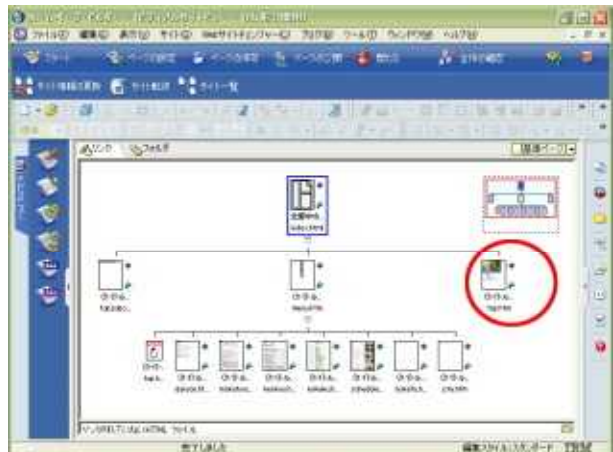


[いいえ]をクリックして、ウェブアートデザイナーを終了します。

これで、「top.htm」に表示させる校舎画像ができあがりました。

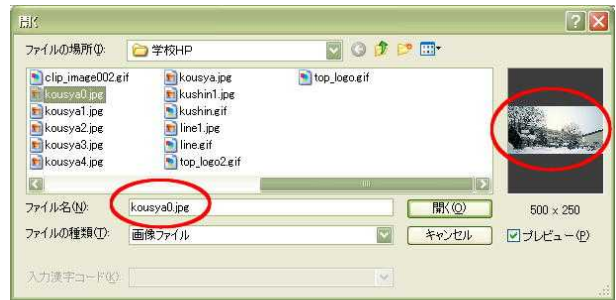
コ) 「top.htm」に校舎写真を貼り付ける。

HPB を起動し、「サイトを開く」「学校 HP」とたどります。「ビジュアルサイトビュー」で表示されているページの中から、「top.htm」をダブルクリックします。(3)で、学校住所や更新状況を変更して保存した「top.htm」が開きます。

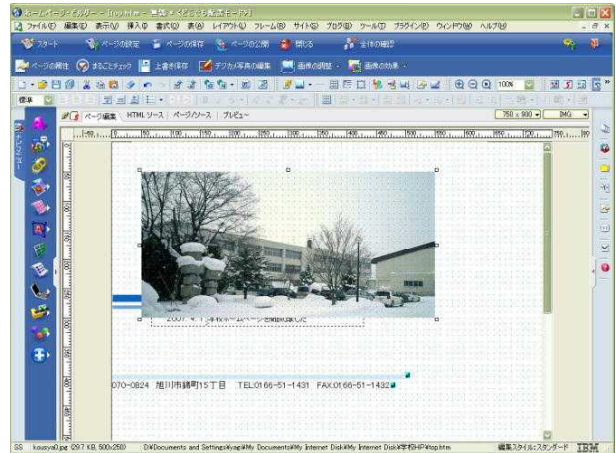


「 kousya0.jpg 」を選択します。無い場合は、「ファイルの場所」からもう一度選択してください。「ファイル名」の所に、「 kousya0.jpg 」と表示されていることと、右端のプレビュー画面に写真が表示されていることを確認します。

[開く]ボタンを押します。



校舎画像が読み込まれました。しかし、場所が正しくありません。



画像が選択されている状態で右クリックすると「属性の変更」というメニューが出ます。その中の「レイアウト枠」をクリックしたのが、右の画面。

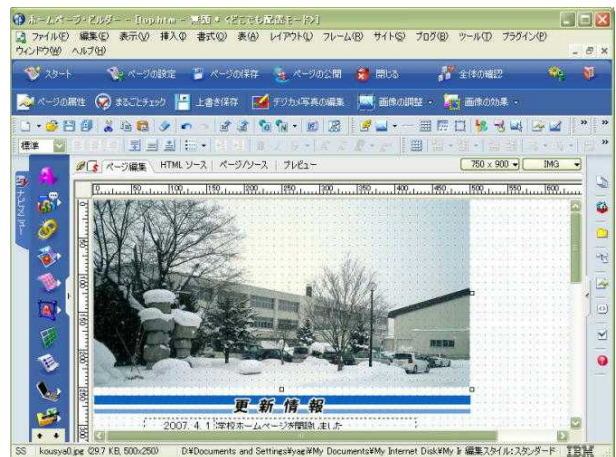
左上の座標が(0,0)になるように、調整します。「左」と「上」をそれぞれ「0」にします。

[OK]を押します。



画像がぴったりはまった「top..htm」が完成しました。これを、上書き保存します。

これで、「 top.htm 」ができあがりました。



(4)メニューページの編集

次に、トップページの左側のメニューの部分、「menu.htm」を編集します。**学校概要**、**教育目標**、**研究紹介**...と項目(HPB では「ボタン」と呼びます。)が並んでいます。これらはすべて「画像ファイル」です。文字ではありません。ペイントソフトを使って作成した「文字画像」です。

また、この画像には、「リンク」という仕掛けがしてあって、例えば、**学校概要**の画像上でマウスを右クリックしたときに、画面右側の校舎写真が表示されている領域に、新しく学校概要のページが表示されるようになっています。

ところで、これらのボタンは、ブラウザで見てみると、例えば、**学校概要**のボタン上にマウスを移動させてくると微妙に画像が変化します。最初は文字の回りに「ぼかし」がある画像ですが、マウスを画像上に持ってくると「ぼかし無し」の画像に変化します。

このように、マウスカーソルを合わせることで画像が変化するような効果を「ロールオーバー」と呼びます。このことについては後述します。

さて、「ひな形」では、7つのメニューを用意しています。けれど、7つすべてが必要でない場合もあるかも知れません。あるいは、7つでは足りない場合もあるかも知れません。

- 7つのボタンはそのまま残し、対応するページを作る。
- 7つのボタンはそのまま残すが、現在公開できないページは後回しにし、「工事中」などの表示にする。
- 公開できる情報のみにボタンの数を絞る(必要ないボタンを削除する)
- 7つのボタン以外に公開したい情報があるので新しいボタンを作りたい

HPB を起動し、「ようこそ画面」では、「どこでも配置モード」を選びます。

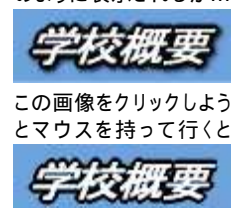
前ページまでの「top.htm」の編集を完成し、引き続き HPB が起動中であるなら、ウィンドウ上部の、[全体の確認]をクリックするといつでもビジュアルサイトビューに切り替わりますので、そのままイ)に進んでください。



「menu.htm」はこの部分

ロールオーバー：HP 上で、ある画像が表示されている部分にマウスを持ってくると別の画像が表示される仕組み。

ひな形では、メニューページに設定してある。例えば「学校概要」というボタンは、最初は以下のように表示されるが...



と、別の画像に切り替わる。(この例ではわかりづらいが...)

これらは、HP を閲覧する人に、このページも見てね、というための演出に用いられることが多い。使い方次第では面白い効果が得られる。



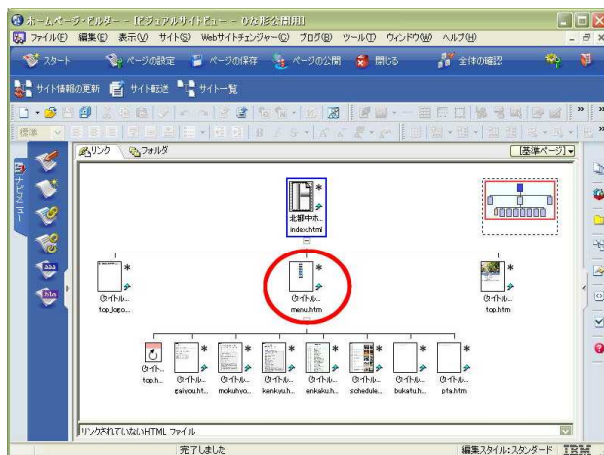
ア)[サイト] [サイトを開く]で、編集したいサイトを選び、[開く]をクリック。

ビジュアルサイトビューが開きます。



イ) 「menu.htm」をダブルクリック。


ビジュアルサイトビュー機能のないバージョンをお使いの場合は、[ファイル] [開く]で、「ひな形」をコピーしたフォルダの中にある「menu.htm」を開けばOKです。

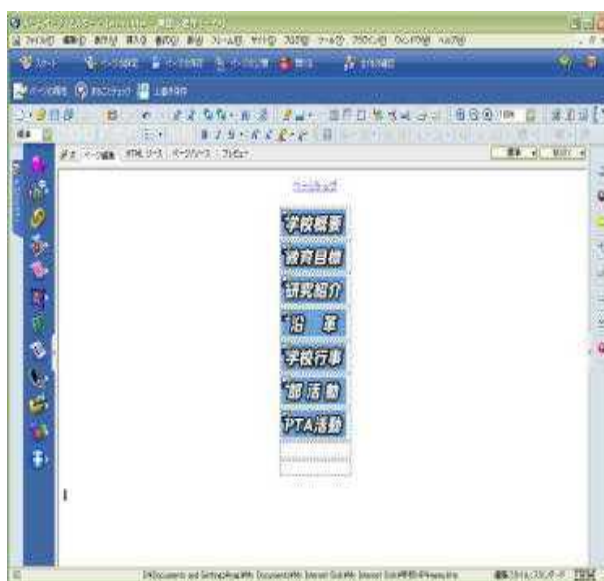


ウ) 「menu.htm」が編集モードになって開く。

ここで編集したいことは1つ。公開しない情報のボタンの削除。点線表示の罫線の一つの枠に一つのボタンが配置されています。一番下の「PTA活動」の下にも2つ枠があります。これは、ボタンを増やす時用です。

ここでは、「研究紹介」というボタンを削除してみます。

それぞれのボタンの、左上に表示されているというマークは、「この画像にはロールオーバーの設定がしてある」という意味です。すなわち、このボタン画像にマウスを持ってくると違う画像が表示されるようになってきているという意味です。(詳しくは (7)ボタンを作る で解説)



エ) 削除したいボタンをクリック。

削除するボタンをクリックします(ここでは「研究紹介」)。

ボタンの回りがピンクの枠線で囲まれます。[編集] [削除]をクリックするか、ピンクの枠線が表示された状態で「Deleteキー」を押します。



オ) 研究紹介ボタンがなくなる。

ボタンがなくなっただけで、枠は残っていますので、罫線枠に囲まれている、この行を削除しなければいけません。



カ) 枠を削除

メニューバーの[表]をクリックし、[行の削除]をクリックします。



キ) 上書き保存する。

「 menu.htm 」の編集が終わったので、[ファイル] [上書き保存]をクリックします。これで、メニュー画面の編集が終了しました。(以下、同様に削除したいボタンがある場合は、同じ作業を繰り返してください。)

これで、「 menu.htm 」が完成しました。

(5)校名表示の部分の編集

トップページで表示される の学校名表示の部分は、校章や色つきの線、学校名の文字などの複数のパーツで構成されています。実はこれらはウェブアートデザイナーで配置した後、「画像ファイル」に変換したファイルを使用しています。

この画像ファイルが貼り付けられているだけのファイルが「 top_logo.htm 」です。

この画像を編集するために、作例として北門中学校校章をあしらったウェブアートデザイナーのファイルを「ひな形」に添付してあります。ここでは、そのファイルを使って、それぞれの学校用の画像を作成します。

「校章の画像」(ファイル形式は何でも構わない)がすでに用意されているものとして説明をします。校章の画像を用意できていない場合は、学校要覧などからスキャナを使ってスキャンするとか、あるいは画像データとして存在するならコピーするなどして用意してください。

ここでは、ウェブアートデザイナーを使用して用意した校章画像を「透過処理」という手段で、校章の回りの背景が見えるように編集し、「 top_logo.htm 」に貼り付けるまでを説明します。

用意するデータ

・校章の画像

(ひな形 CD にも例として添付。保存形式は問いません。

ここでは bmp 形式を使用。右のコラム参照)

・ top_title.mif (拡張子が「.mif」です。)

(ひな形 CD に保存されているウェブアートデザイナー形式のファイル)

校章の画像:校章の画像データがなければ、スキャナを使ってスキャンしましょう。(校章をデジカメを使って撮影した物は向いていません。)

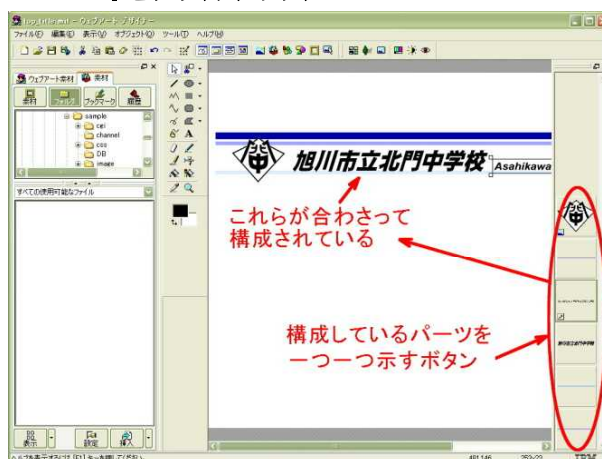
学校要覧などから「白黒2値」形式でスキャンし、スキャンした画像をトリミング(必要ない部分をカット)し、リサイズ(800 × 800 ドット以内くらいにサイズダウン)したものを用意してください。ここでは、緑が丘中学校の校章をスキャンした「kousyou_1.bmp」(ビットマップ形式)と言うデータを使用します。

なお、ここではスキャナの使い方については説明を省略します。

ア)パソコンにコピーした「ひな形」の中の「 top_title.mif 」をダブルクリック

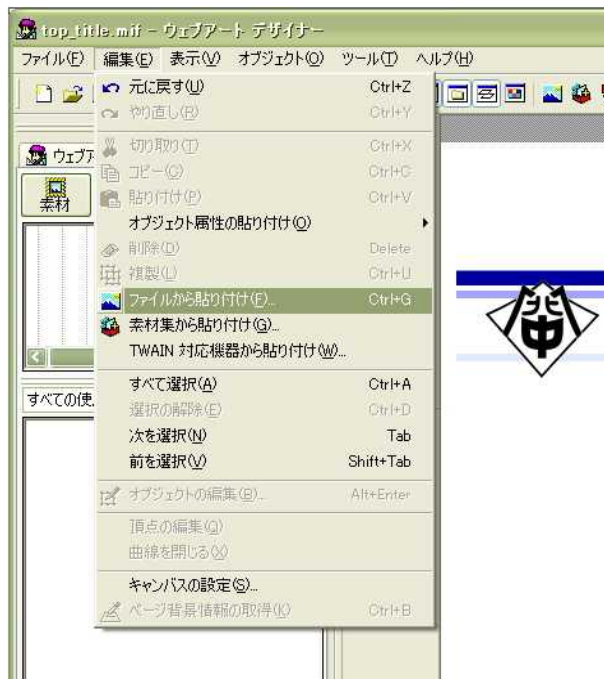
ファイルを読み込んだ状態でウェブアートデザイナーが立ち上がります。

北門中学校用のタイトルトップの画像が表示されます。これらは、3本の直線と、1つの校章の画像、「旭川市立北門中学校」、「Asahikawa HOKUMON JHS」という文字列から構成されています。これらの一つ一つのパーツは、画面右端のボタンをクリックすることで選択することができます。選んだオブジェクトは四角で囲まれるのでどれを選択しているのかがわかります。

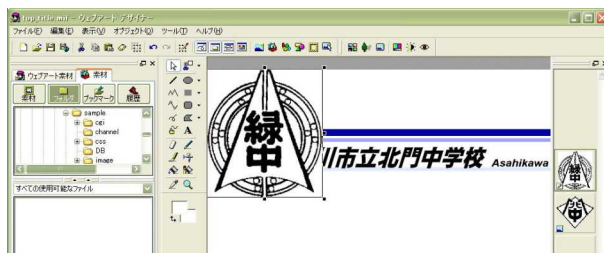


イ) 校章の画像を読み込む。

[編集] [ファイルから貼り付け]をクリックし、あらかじめ保存してある校章の画像データを指定します。画像を保存したときの大きさを校章の画像を読み込まれます。ここでは、「緑が丘中学校の校章」データを使ってみます。



読み込まれた画像の大きさの変更は後でします。読み込まれた校章には選択されていることを示す枠がついています。とりあえず、マウスでドラッグし、北門中学校の校章が見えるように移動します。



ここで注目してほしいのは、「校章の輪郭の外側」です。すでにある、北門中学校の校章を見ると、背景の水色のラインが校章の輪郭ギリギリの所まで見えています。読み込まれた「緑中」の校章画像は基本的に「四角」なので、背景の「白色」によって、四角の内側になる部分の水色のラインや文字が見えません。北門中学校の校章の画像も「四角」ですが、校章の輪郭から外側の部分は、背景が透けて見えるように加工してあります。このように、画像の一部を背景が見えるように透明に加工することを「透過処理」と呼びます。

透過処理は、ペイントソフトがあればできるのですが、実はウェブアートデザイナーでもできます。ここでは、ウェブアートデザイナーを使って透過処理をしてみます。

透過処理: 画像ファイルの一部をバックが透けて見えるように透明にすること。多くの場合、gif形式で保存することでできるようになる。そのほかの保存形式では専用のツールやソフトが必要になる場合が多い。画像の「背景色」は、「白」が自動的に設定されることが多く、「白」はもちろん透明ではない。

ウ) 読み込んだ画像に透過処理をする。

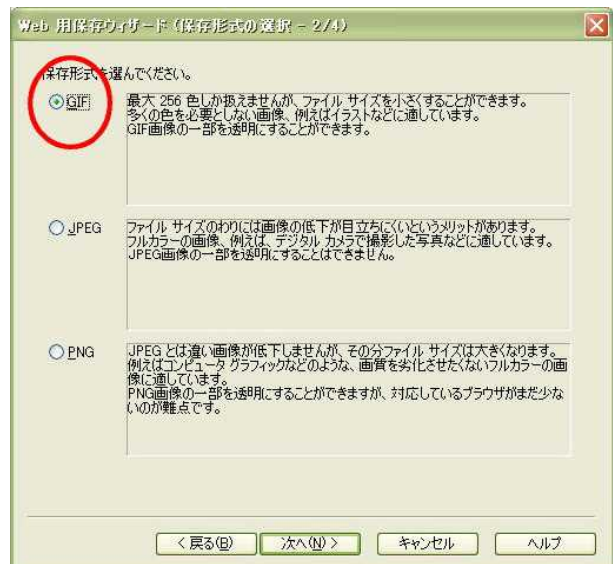
自分の学校の校章を選択します(先ほど読み込んだ校章をクリックします, 枠で囲まれます)。枠で囲まれている状態で, 校章を右クリックします。表示されるメニューの中から, 一番下の「Web 用保存ウィザード」をクリックします。



「選択されたオブジェクトを保存する」にチェックがされていることを確認して[次へ]をクリック。



保存形式に、一番上の「GIF」にチェックが入っていることを確認して、[次へ]をクリック。



右の図のように、[透明化]にチェックを入れてからその隣の[スポイト]のボタンをクリック。マウスがスポイトの形に変わります。これは、画像上の「どの色を透明化しますか?」という意味で、透明化したい色をスポイトマウスで画像上から指定します。校章の画像には、「白」と「黒」しか色はありません。ここでは、「緑中」の校章の、「白い部分」を透明化したいので、マウスで[設定後の画像]の「白い部分」(白いところならどこでも構わない)をクリックします。



透明化を指定した色の部分が網掛けになります。図ではわかりづらいですが、「白色」が透明化されますよ、と言うことを表しています。[次へ]ボタンを押します。



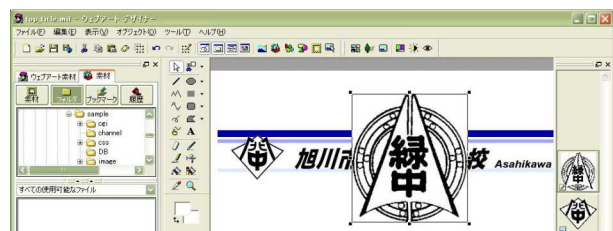
保存方法を聞いてくる画面が表示されます。ここでは、一時的な画像ファイルを編集しているので、2番目の、「ファイルに保存」にチェックを入れ、[完了]をクリックします。

「名前をつけて保存」の画面が表示されます。一時的な画像ファイルですので、保存先はどこでも良いのですが、とりあえず、「デスクトップ」を選択し、ファイル名は初期設定のまま、「image」としておいて、[保存]をクリックします。

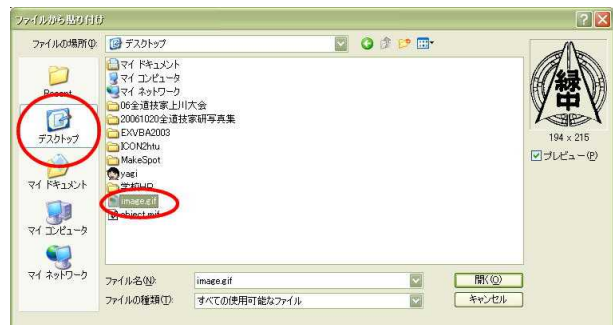
デスクトップに、[image.gif]と言う名前のファイルが表示されます。



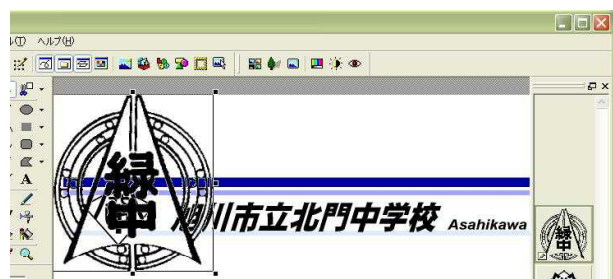
ウェブアートデザイナーの画面に戻ります。最初に読み込まれた校章の画像が選択されています。この画像は透過処理されていない方なので、ウェブアートデザイナーから削除します。選択されている状態で[Del](デリートキー)を押すか、マウスの右クリックメニューから[削除]を選択します。



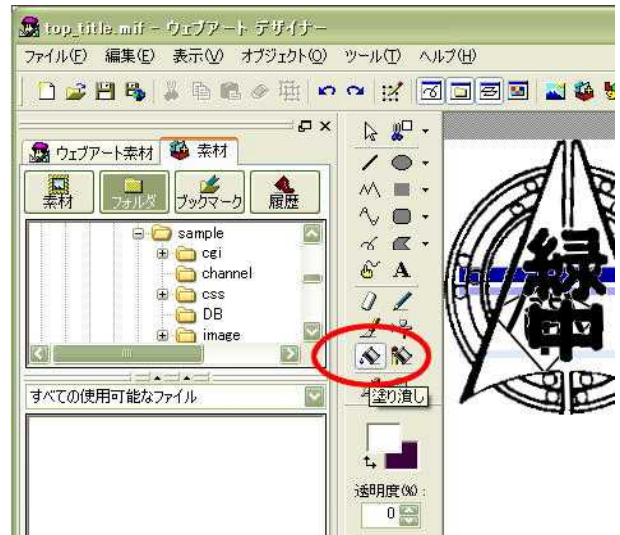
「透過処理した校章の画像」を読み込みます。[編集] [ファイルから貼り付け]で、ファイルの場所は[デスクトップ]を選択し、先ほどデスクトップに保存した(透過処理した)「image.gif」という校章画像ファイルを読み込みます。



「白色」が透明化された校章の画像が表示されます。バックの水色の線も見えますが、校章の輪郭の中に表示されるのは、変です。どうやら、校章の輪郭線の内側は、「白」で塗りつぶす必要があります。(この、「白」は「透明」ではなく、「白」です。)輪郭より内側を、「白」で塗りつぶして、「透過」しないように編集します。

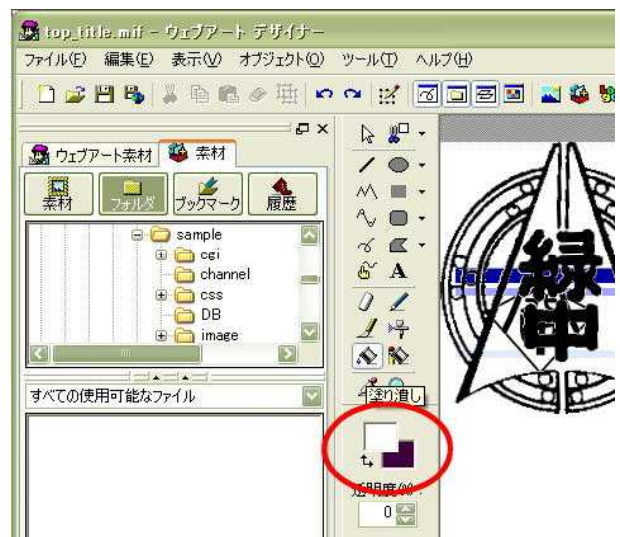


「白」で塗りつぶすために[塗り潰し]ボタンをクリックします。次に、何色で塗りつぶすかを指定する必要があります。




色は、[塗り潰し]ボタンのすぐ下にある[色選択ボタン](長方形が2つ重なったボタン)で決めます。左側の四角が「前景色」で、右側の四角が「背景色」です。場合によっては、左側の色がマウスの左クリックで塗り潰し、右側の色が右クリックで塗り潰しになることもあります。ここでは左の四角の色を白にします(右の図ではすでに白になっています)。もし白でなければ、左の四角をクリックすると色の選択ウィンドウが開きますので、そこで、白を選びます。

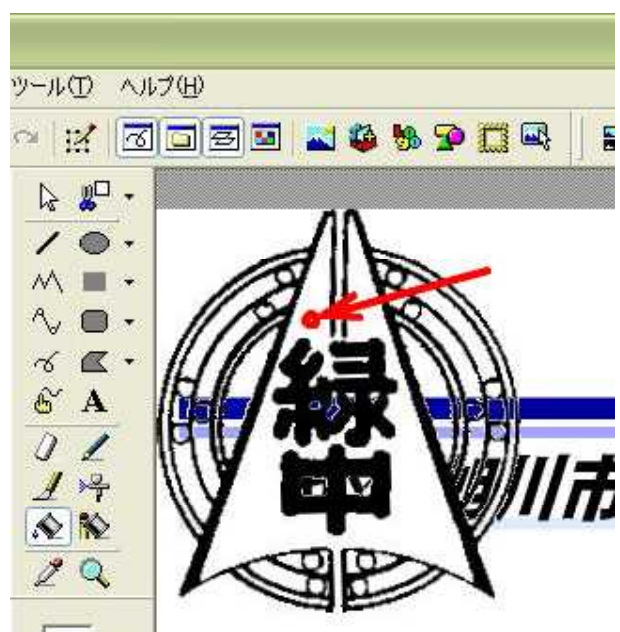
右の図は、すでに[塗り潰し]ボタンと[色は白]が選ばれていますので、このあとマウスでクリックする箇所は白で塗りつぶされます。



右の図の、矢印が示すあたりをマウスでクリックしてみました。「緑中」の回りが白く塗りつぶされ、背景の水色の線が隠れました。

同様に、校章の中の、透けてほしくない部分を白く塗りつぶしていきます。

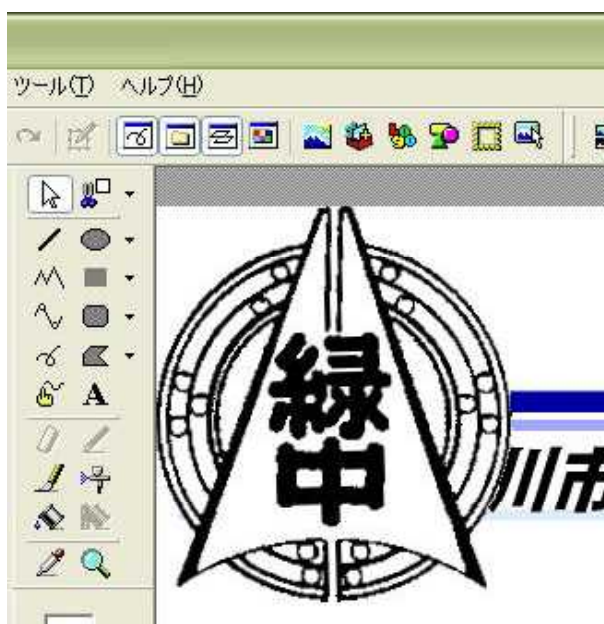
塗り潰される範囲は、この場合、「白」以外の色(ここでは黒)で囲まれている領域の範囲です。一つ一つ、塗りつぶしていきます。間違えて、黒い部分も白くしてしまっても、[元に戻す]ボタン  を押せば、すぐに復活できます。



一番外側の輪郭線の内部を白で塗り終わりました。背景にあった水色のラインや旭川の「旭」の字が見えなくなっています。

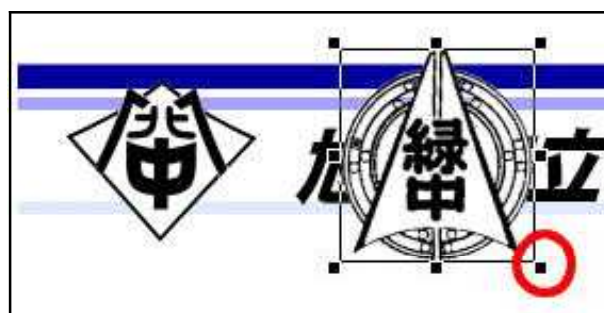
これで、「必要な部分の透過処理」が完了です。

透過処理した校章画像を他のページでも使う予定がある場合は、この画像を単独で保存しておくとか後から使い回しができます。そのためには、校章の画像をクリックし、選択枠が表示された状態で右クリック、「Web 用保存ウィザード」を使って、パソコン内の、「サイト」(ここではDドライブの「学校HP」フォルダ)に名前をつけて保存しておくとか便利です。



次に、透過処理した校章画像の大きさを変えます。校章をクリックし、枠線が表示された状態でドラッグし、場所を移動します。北門中学校の校章が見える場所に移動します。北門中の校章と同じくらいの大きさに縮小します。4つの角の

をマウスでドラッグすることで大きさを自由に変更できます。この時、[Shift]キーを押しながらドラッグすると縦横比を保ったまま縮小できます。ほぼ、同じ大きさにできたら、北門中の校章をクリックし、[Del]キーを押して北門中の校章を画面から削除します。同じ位置に、大きさを調整した自分の学校の校章をマウスを使って配置します。



以上で、「校章」の配置が完了しました。

念のため、現在ウェブアートデザイナーで編集しているこのファイルを「上書き保存」しておきます。

エ) 学校名の変更

学校名の変更は簡単です。学校名は、「漢字表記」と「ローマ字表記」の2つがありますが、それぞれをクリックし、自分の学校名に変更するだけでOKです。

ウェブアートデザイナーで「top_title.mif」を開いている状態で、現在は「旭川市立北門中学校」と表示されている学校名の部分をクリックします。枠がついて選択された状態になります。

この枠をダブルクリックします。



すると、ロゴの編集という名前のウィンドウが開きます。このように、ウェブアートデザイナーでは、それぞれのパーツをダブルクリックすると編集できるようになります。このウィンドウ上の、[文字]の部分をも自分の学校名に変更するだけです。

この時、より細かな編集をすることもできます。書体を変えたり、大きさを変えたり、文字間隔を変えたり等、いろいろとできますから気に入ったものを作ってください。



文字を編集するだけでなく、[文字]タブ以外の[色]タブを選択すると、文字色を変えることができます。[縁取り]タブを選択すると、様々な縁取りの効果をつけることができます。[効果]タブでは、ぼかしや影をつけることができます。(手っ取り早く済ませたい場合はあまり凝らないで学校名だけ変えるだけでも良いでしょう。)

編集を終えたら、右上の✖(閉じるボタン)を押して、ウィンドウを閉じます。

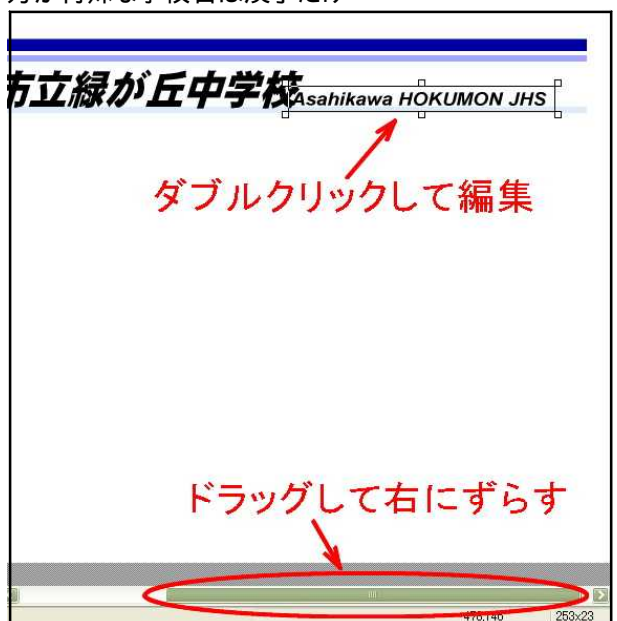


次に、ローマ字表記の部分編集します。読み方が特殊な学校名は漢字だけではわかりづらいのでローマ字もつけておくと親切です。

漢字の学校名の右側にローマ字表記の学校名がありますが、画面上では途中までしか見えていません。スクロールバーをドラッグして見るようにします。

学校名と同様に編集します。日本語入力は解除してアルファベットを入力します。大文字を入力するときは、[Shift]キーを押しながらアルファベットキーを押します。

書体や大きさや色なども同様に変わることができます。



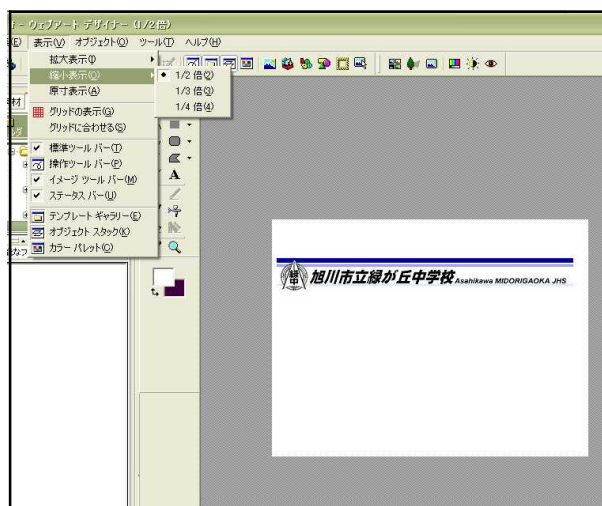
オ) 配置を整える

学校名の文字数が変わることで全体のバランスが崩れます。右の図でも、漢字とローマ字表記が重なっています。校章や、漢字表記やローマ字表記はクリックすると選択できます。選択している状態でドラッグすると場所を移動することができます。また、選択されている枠の四隅の^{しかく}をドラッグすることで大きさを変えることもできますので、それらを使いながら、水色のラインの横幅に収まるようにバランス良く配置します。



全体を見渡すには、[表示] [縮小表示] [1/2倍]を選ぶと便利です。

なお、水色のラインの横幅は変えないください。この幅に収まるように文字や校章を配置します。(横幅は、トップページのフレームの幅に影響するからです。)



カ) ラインを編集する

3本ある水色のラインは、色や太さを編集できます。数を増やしたり減らしたりすることもできますが、トップページのフレームのデザインとの関わりがあるので、大きさ(幅や太さ)を変更することはお勧めできません。ホームページ作りに慣れてきたら挑戦すると良いと思います。ただ、色を変えることは現段階でもできます。

編集したいラインをダブルクリックすると、右の図のような[図形の編集]ウィンドウが表示されます。ここで、色や太さ等を細かく指定できます。そのままでも何の問題もありません。必要ならラインの編集をします。

ここまで来たら、トップページの上部に表示される「校名表示」の部分の編集が完了です。

「top_title.mif」を上書き保存します。



キ)「校名表示部分」を画像ファイルとして保存する

・校章の画像、・漢字の学校名、・ローマ字の学校名、・3本のライン、で、「校名表示部分」は構成されています。「ひな形」では、これらを一つの画像として表示しています。ウェブアートデザイナーで編集している現在の状態は、ウェブアートデザイナーで編集できるファイルの、パーツを編集している状態です。ウェブアートデザイナー形式で保存したファイルは、HP には表示できません。HP に表示できる「画像ファイル形式(ここでは GIF 形式)」にして保存します。画像として保存した後は、校章単独の編集などができなくなります。

まず、すべてのパーツが含まれるように画面上の左上から右下にかけてマウスでドラッグします。横幅が広いためローマ字表記の部分が全部表示されていませんが、それも見越して、大きめにドラッグします。

または、画面右側の各パーツがボタンになって縦に並んでいる部分をすべて含むようにドラッグしても同じです。

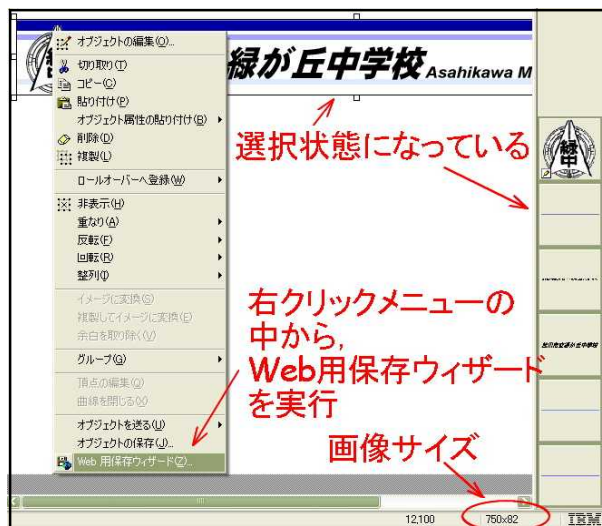
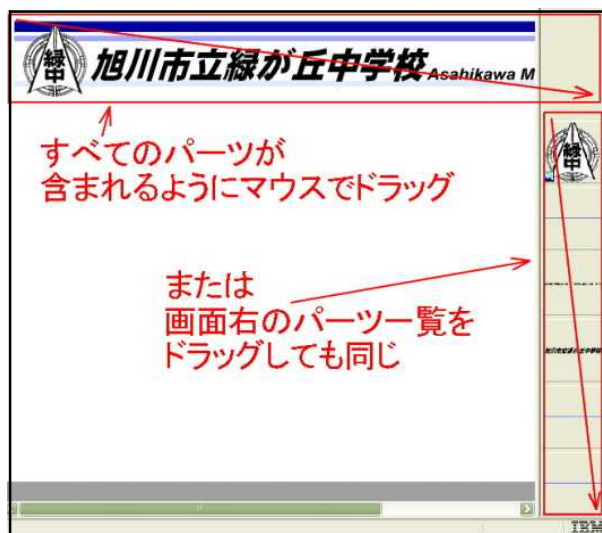
こうすることですべてのパーツが選択状態になります。

すべてのパーツが選択状態になったら、画面一番右下に表示されている数字を確認します。750 x 82 のような表示がありますが、これは画像で保存したときの縦横の大きさ(ドット)です。このサイズが 750 x 90 以上になるようでしたらいったん作業を中断し、範囲内に収まるように編集のし直しです。

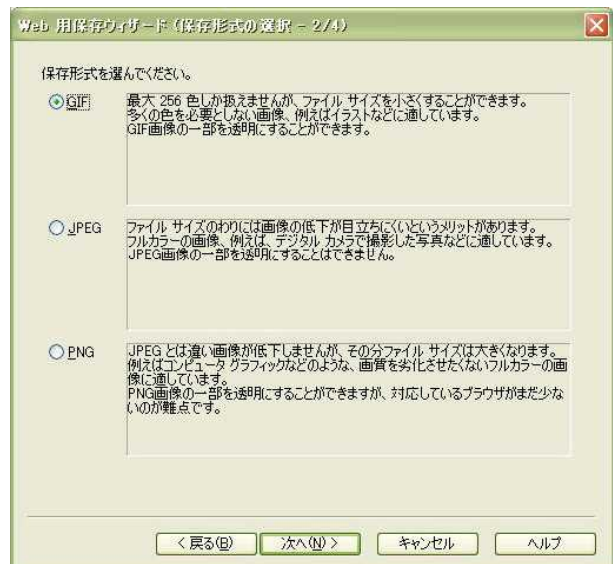
サイズ以内でしたら、画面上で右クリックし、メニューを出します。この中の、一番下の「Web 用保存ウィザード」を選択します。

Web 用保存ウィザード(保存対象の選択 - 1/4)が表示されます。

「選択されたオブジェクトを保存する」にチェックが入っていることを確認し、[次へ] ボタンを押します。



Web 用保存ウィザード(保存形式の選択-2/4)が表示されます。一番上の、「GIF」にチェックが入っていることを確認し、「次へ」ボタンを押します。



Web 用保存ウィザード(GIF属性の設定-3/4)が表示されます。ここでは特に設定する項目はありませんので、「次へ」ボタンを押します。



Web 用保存ウィザード(保存方法の選択-4/4)が表示されます。2つめの、「ファイルに保存」にチェックを入れます。「完了」ボタンを押します。



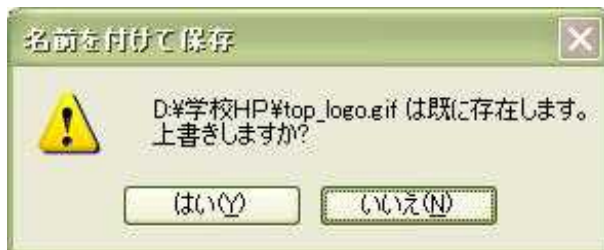
保存場所を選択します。このマニュアル通りにパソコンに「ひな形」がコピーされていれば、「Dドライブ」の中の「学校HP」というフォルダです。フォルダが開いたら、その中の、

「top_logo.gif」(すでに保存してある名前)

を選択して、[保存]ボタンを押します。



「上書きしますか?」の警告メッセージが表示されます。ここでは、あえて、[はい]を押します。



すでにあるファイル名を指定して[保存]をしました。つまり、すでにあるファイル名の「top_logo.gif」は、「ひな形」である「北都中学校」の校名表示の画像ファイルです。自分の学校のHPには必要ありませんので自分の学校の「校名表示」と入れ替えても何の問題もありません。そのため、同じファイル名で保存します。

なお、「校舎画像の編集」の所では、すでにあるファイル名と違うファイル名をつけて保存しましたが、実はその場合も、すでにあるファイル名を使うことも可能でした。HPB を使って編集済みの校舎の画像ファイルを差し替える作業をするために、あえてそのような説明にさせていただきました。

すでにあるファイル名で上書き保存すると、HPB 上でここで作成した「校名表示」の画像を配置し直す手間が省けます。

これで、「index.html」(フレームページ)を構成するすべてのファイルの編集が終わりました。

確認してみましょう!

「ひな形」からDドライブの「学校HP」フォルダに保存したファイルを表示させ、この中の、「index.html」をダブルクリックします。インターネットエクスプローラが立ち上がり、ファイルが読み込まれます。次のように表示されるはずですが、

右の例では「北門中学校」の校舎が表示されて「緑が丘中学校」の校名表示でおかしいですが、このマニュアルの説明通りに表示されています。よく見ると、印刷ではわかりませんが、一つだけ、おかしい所があります。



ウィンドウの、一番左上に表示されているインターネットエクスプローラのアイコンの横にある文字は、「北都中ホームページ」なんです!

インターネットエクスプローラで開いたHPのウィンドウのタイトルは、そのHPの作成者が決めることができます。

ク) ページタイトルの変更

ページのタイトルをさっそく修正しましょう。[スタート] [マイコンピュータ] [ドライブDを選択] [学校HP]フォルダを選択 「index.html」の存在を確認 「index.html」にマウスを合わせた状態で右クリック 「メニュー表示」の中から「ホームページビルダー 11 で編集」をクリックします。

HPBが立ち上がり、「index.html」が読み込まれた状態になります。

この方法以外にも、HPBを立ち上げてから、[ファイル] [読み込み]で「index.html」を読み込むという方法もありますが、どちらも結果は同じです。

「index.html」が読み込まれました。

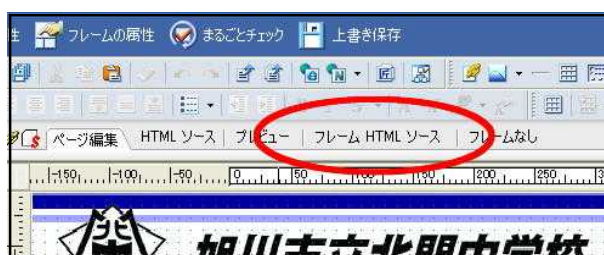
校名表示、画像との整合をとるために「北門中学校」に変更してあります。



「index.html」は、学校のHPのトップページですが、その内容は、最初の画面は3つの枠に分けるぞと言うこと、それぞれの枠に「top_logo.htm」と「menu.htm」と「top.htm」を表示しなさいと言うことが、「タグ」という方法で記述されています。一連のタグの中に、「ページタイトル」と言うタグがあり、そこに設定されているのが現在は「北都中ホームページ」なわけです。

具体的に見てみましょう。

「index.html」の詳細を見るために、画面上の「フレーム HTML ソース」というタブをクリックします。



フレーム HTML ソースが表示されます。「ソース」というのはもちろん、調味料の「ソース」ではありません。「html(あるいは htm)」形式のファイルの本体です。この本体は、「タグ」と言うルールのもと、すべて文字で表記されます。



この中の、

<TITLE>北都中学校ホームページ</TITLE>

を 中学校(あるいは 小学校)に変更します。そのまま、学校名を入力するだけです。変更が終了したら、[ファイル] [上書き保存]を選びます。

これで、トップページ(index.html)が完成しました。

(6) そのほかのページの編集

基本はビジュアルサイトビューを使って編集

トップページはいろいろと仕掛けがあったので編集が大変でしたが、それさえできてしまえば残りの作業はそう難しくありません。

HPB を立ち上げ、サイトを開き、編集したいファイルをクリックし、編集。編集が終わったら上書き保存。と言う流れです。

さっそく編集します。

ファイルの編集：一度ネット上に公開したファイルの編集(更新)も同様です。上書き保存した後、新しく更新したファイルだけをネット上にアップロードすればよいのです。

ア) HPB を起動しサイトを開く

サイトを開くと、「ビジュアルサイトビュー」が開きます。

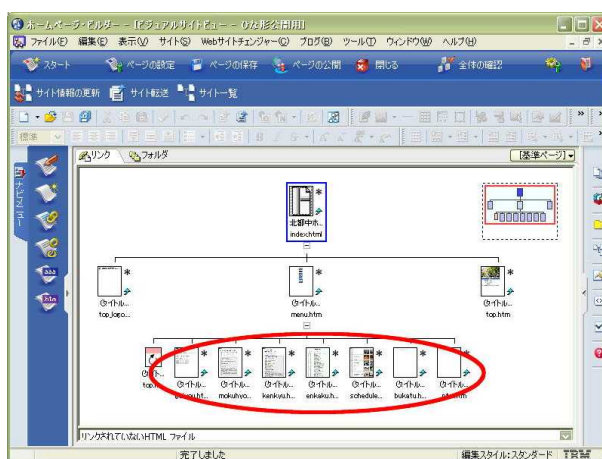
ビジュアルサイトビューでは、それぞれのページが樹形図のように直線につながっていますが、これは、あるページから他のページへ「リンクが張ってある」ことを示しています。

それぞれのページの縮小画面の下にタイトルとファイル名が表示されています。ここで編集が必要なのは、右の図では赤く囲んだファイルです。

具体的には、

- ・ gaiyou.htm 学校概要のページ
- ・ mokuhyou.htm 教育目標のページ
- ・ kenkyu.htm 研究紹介のページ
- ・ enkaku.htm 沿革のページ
- ・ schedule.htm 学校行事のページ
- ・ bukatu.htm 部活動のページ
- ・ pta.htm PTA のページ

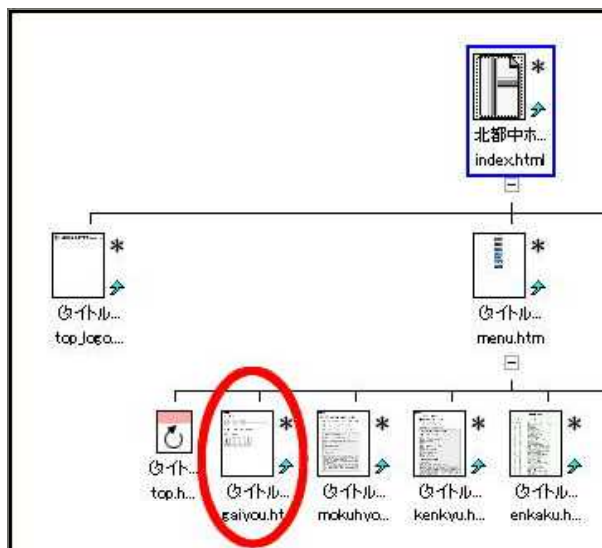
と言う内容になっています。



イ)文字が中心のページの編集

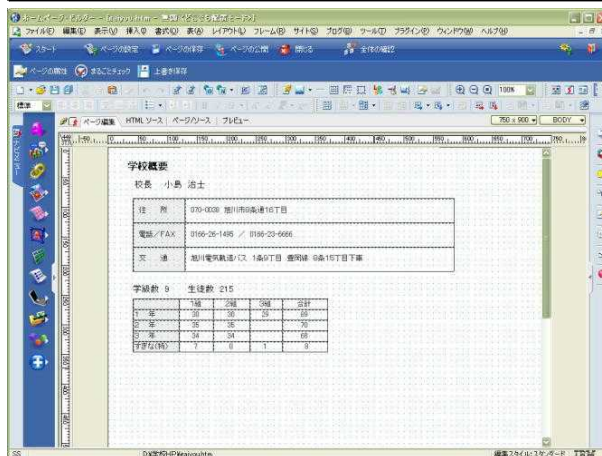
学校概要,教育目標,部活動,PTAのページは(現段階では)基本的に文字が中心のページ構成です。したがって,自分の学校の内容に合うように,文字の編集をしたり,罫線の編集をしたりすることになります。

試しに,学校概要のページを読み込みます。ビジュアルサイトビューでは,gaiyou.htmをダブルクリックするだけです。



学校概要のページが読み込まれます。この時,トップページにあった,「校名表示」や「メニュー」の表示がありません。

これは,[学校概要]のボタンが押されたときに表示される物だけを編集しているからです。トップページそのものは,「フレーム」と言う仕掛けを利用して一つの画面をT字型の枠で3つに仕切って表示しています。この時,右下の枠に表示されるのが,このページです。「メニュー」や「校名表示」は編集する必要がないので,このような編集のしかたの方がすっきりしています。

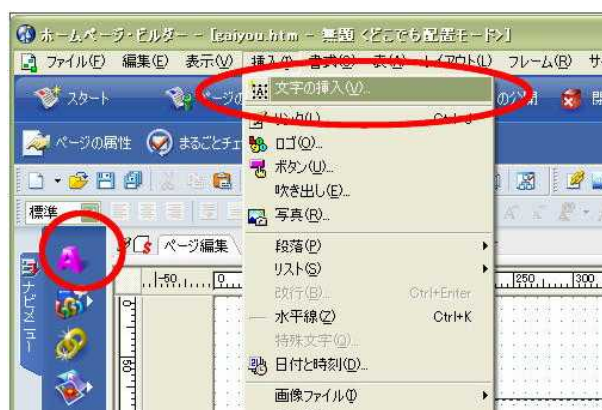




すでにある文字を編集するなら編集したい文字の部分をクリックすると編集できます。

何も表示のないところに新しく文字を配置したい場合は,メニューから[挿入][文字の挿入]をクリックし,文字を入力する領域を指定します。左の[A]というボタンを押しても同じです。

ワープロのような感覚で編集ができますので,自分の学校に合うように編集し,編集が終わったら,[ファイル][上書き保存]を押します。

ビジュアルサイトビューに戻るには,[全体の確認]ボタンを押します。



ファイルの保存: 上書き保存するには,画面左上の方にある  このボタンを押しても同じです。隣にある  このボタンはすべて保存ボタンで,複数のファイルを開いているときにまとめて上書き保存するときを押します。

ウ) 画像が中心のページの編集

画像が中心と言っても、「学校行事」のページのことではありません。ここでは、「沿革」ページのことです。

右の図のように、水色の枠で囲まれた部分がデジカメ画像と同じ、「画像データ」です。

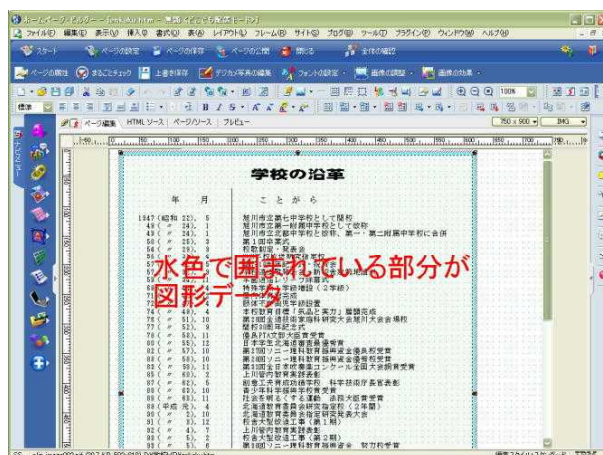
具体的には、「ひな形」フォルダの中の、「clip_image002.gif」というファイル名の画像です。これは、学校の沿革が掲載されている文書（「学校要覧」など）をスキャナを使って読み込み、画像ファイルとして保存するわけです。

もし同じ方法を使うなら、スキャンして保存するときに、上と同じファイル名にすると、簡単に入れ替えることができます。

ただ、ここでは保存する画像の横幅を 600 ドット程度にした方が、見る人のウィンドウからはみ出ないですっきり収まります。縦に長い分にはスクロールできるので問題ないでしょう。また、画像ファイルは比較的ファイルのサイズが大きくなりがちなので、読める範囲でファイルサイズを小さくする工夫（dpi を下げるとか）が必要です。画面上で見ただけなら、スキャナで取り込むときは 100dpi 程度で充分です。

また、文書を画像データや PDF（後述）にして Web ページに載せることは、悪意のある第三者によって、ページを改ざんされにくくするという効果もあります。

もちろん、沿革を打ったワープロの文書データなどがあるなら、そちらを利用することもできます。この場合は文字データになります。



スクロール: ブラウザを使ってネット上のページを見るとき、大きな画像や文書には自動的にスクロールバーが表示されます。横にスクロールする作業は意外と嫌われます。

画像で保存: 一太郎などのワープロでは文書データを「画像に変換して保存」という機能もあります。スキャナを使うよりもお手軽です。

エ) PDF 形式で文書を表示させる

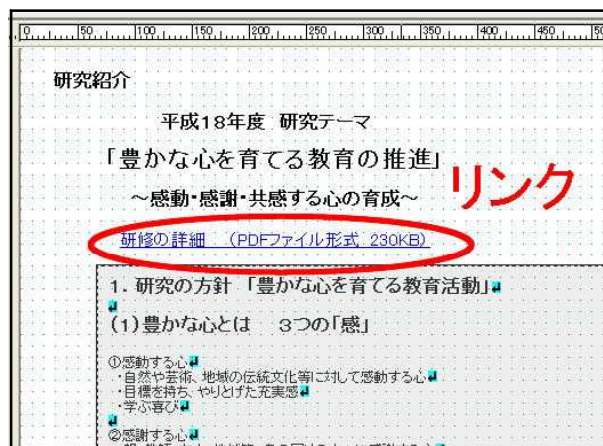
アドビ社から無料で提供されている「アドビリーダー」がパソコンに組み込まれていれば「PDF 形式の文書」を見ることができるようになります。また、最近は一太郎などのワープロソフトにも PDF 形式で文書を保存するための簡単なツールが付属されるようになりました。（PDF_Creator といいます。）

PDF 形式の文書を Web ページに載せるのは、画像で載せるのと意味合いはほぼ同じですが、一般的に画像よりもファイルサイズが小さくなります。また、他人とデータファイルのやりとりをするような場合に、例えば一太郎の入っていないパソコンで一太郎の文書を表示させたいときなどに使われることもあります。

「ひな形」では「研究紹介」のページの中に、「研修の詳細（PDF ファイル形式 230KB）」と表示したリンクを張り、そこをクリックすると PDF 形式のファイルが表示される仕掛けになっています。

具体的には、リンクを張ってある文字をクリックすることで「h18_kensyu.pdf」というファイル名の PDF 形式文書が表示されるようになっています。

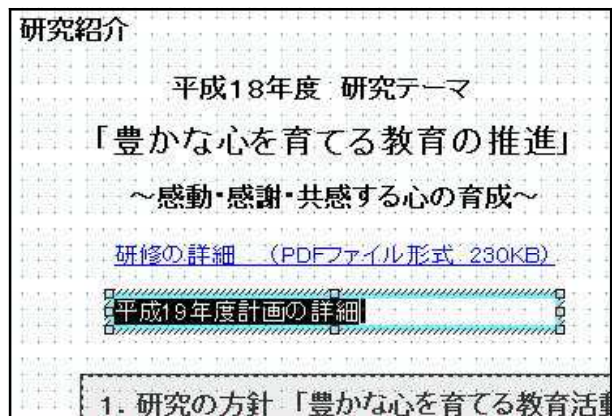
同じ方法で文書を表示させたいときは、まず、PDF 形式の文書を用意し、それを「学校 HP」



フォルダにコピーしておきます。

新しくリンクを作成するには

リンクを設定したい文字列をマウスでなぞって選択します。ここでは「平成 19 年度計画の詳細」という文字を新たに追加しています。

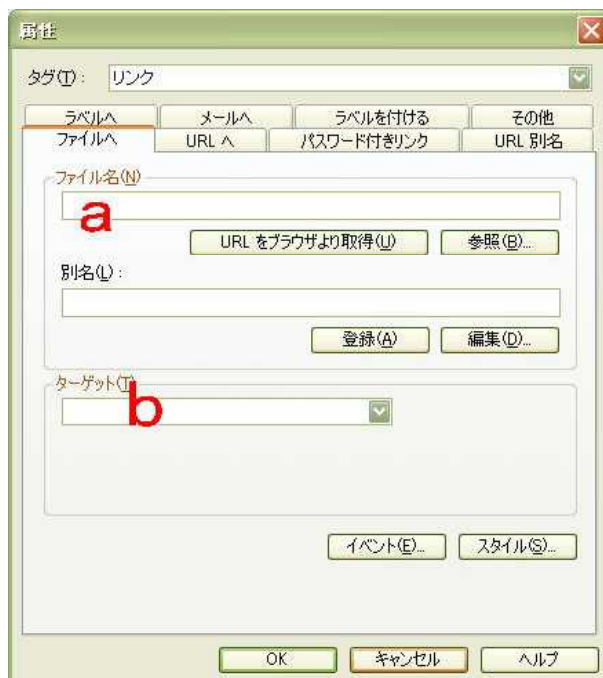


[挿入] [リンク]をクリックします。右の図のようなウィンドウが表示されます。

aの部分には「学校HP」フォルダにコピーしたPDF形式のファイルを指定します。

bの部分には ボタンを押して「同一ウィンドウ」を表示させます。

[OK]ボタンを押します。



なお、HPを見る人のパソコンに「アドビリーダー」が必ず組み込まれているとは限りません。より多くの人に見てもらいたい内容の物を PDF 形式にするのはお勧めできません。(そのために「PDFファイル形式 230KB」等と表示することは親切といえます。)

オ) 学校行事のページ

学校行事のページは少し複雑な構造になっています。表と、文字と写真(画像データ)が混在しているページ構成になっています。

ちなみに、ここで使われる写真データは、「学校 HP」フォルダ内の、「pic」という名前のフォルダに収められています。また、写真のサイズは「幅 150 × 高さ 100 ドット」です。

自分の学校の行事の写真に掲載するときは、このサイズに「リサイズ」した画像を「pic」フォルダに保存しておく必要があります。(「リサイズ」、「トリミング」については、校舎画像の作成のところで触れました。)

HPB でこのページ「schedule.htm」を開いたのが右の図です。行事名や日付などは文字データですので学校の実態に合うように変更します。変更するには文字上でダブルクリックします。

写真は、「ひな形」にある写真はどれも「北都中」の行事の物なので必要ありません。すべて削除します。ただ、写真データはこの「schedule.htm」そのものに貼り付けられているわけではありません。この、「schedule.htm」には、「ここには「pic」フォルダの という写真を表示しなさい」というように設定されているだけ(リンクが設定されているだけ)なのです。

そのことを確認するために写真をクリックして、水色の枠を表示させます。そのまま写真の上で右クリックすると表示されるメニューの中から、一番下の[属性の変更]を選びます。これで、この写真に関する属性が表示されます。

[ファイル]の欄には「pic/nyuugaku3.jpg」表示されています。これは、「サイト(学校 HP フォルダ)の中の「pic」というフォルダの中にある、nyuugaku3.jpg という画像データである」ということを示しています。(「/」(スラッシュ)はフォルダの中へ入ることを示します。)



試しに、「pic」フォルダの中にある、「nyuugaku3.jpg」をウィンドウズのエクスペローを使って削除して、もう一度「schedule.htm」を開いてみました。すると、HPB 上では右のような表示になります。

表示される写真の実体が存在しないので、「リンク切れ」を表す×マークが表示されています。

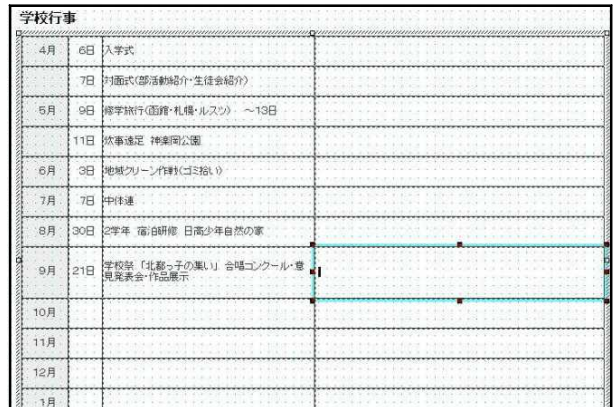
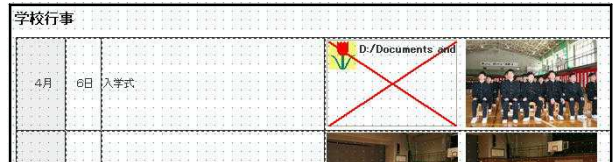
ここでは、「pic」フォルダにあるはずの「nyuugaku3.jpg」を表示する設定があるが、その本体がない、ということを示しています。その「設定」も削除します。

削除するには、そこをクリックして、水色の枠で囲まれたら右クリックし、表示されるメニューの中から[削除]を選びます。

そうして、すべての写真を削除し、リンクも削除します。すると、写真がなくなった分、行幅が縮まって、右のような表示になります。

この状態で、行事予定表を編集すると良いと思います。そして、何かの行事が終わったときに、その行事の写真をここに貼り付けていけばよいわけです。

試しに、入学式の写真を貼り付けてみましょう。



入学式の時の写真を1枚用意し、150 × 112 ドットにリサイズしました。

このように、写真のサイズを小さくして、写っている人が誰なのか、簡単にわからなくすることも必要です。あらかじめ、この写真を「pic」フォルダにコピーしておきます。

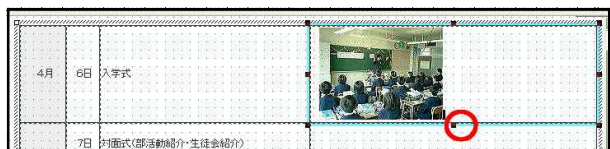
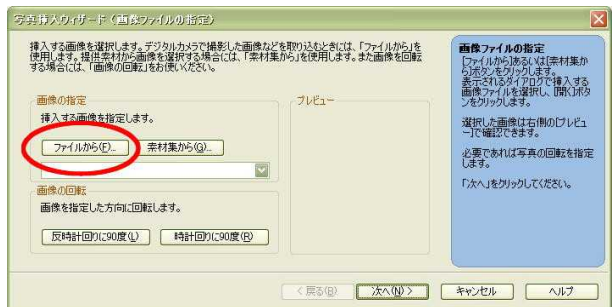


HPB 上で、写真を挿入したい枠をクリックし、水色にしておきます。メニューバーから[挿入][写真]と進むと、「写真挿入ウィザード」というウィンドウが表示されます。

[ファイルから]ボタンを押して、「pic」フォルダにある目的の写真を選択します。このウィザードでは、写真の補正や効果なども設定できますので適切に選びながら[次へ]ボタンを押して進みます。

そうして貼り付けられたのが右の図です。写真と枠線の上下の余白を調整するためにしるしをクリックして枠の高さを調整します。

そして、必要な写真の貼り付けが終わったら、上書き保存しておきます。このようにして、行事のページを作ることができます。



写真の縮小: 写真データの縮小に特化したお勧めのフリーウェアがあります。その名も「縮小専門。」ネットで簡単に手に入りますので検索してみてください。使い方も簡単です！

(7) ボタンを作る

メニューに並んでいる7つのボタンは、いずれも「画像ファイル」です。この画像データをクリックしたときに、別のページが表示されるようにするのは、「リンク」という仕組みで実現しています。リンクする仕掛けを、画像に仕込んでいくのです。このことを、「リンクを張る」と呼びます。

ここでは、「ひな形」に用意されている7つのボタン以外に新たにボタンを作成したい場合の方法を説明します。

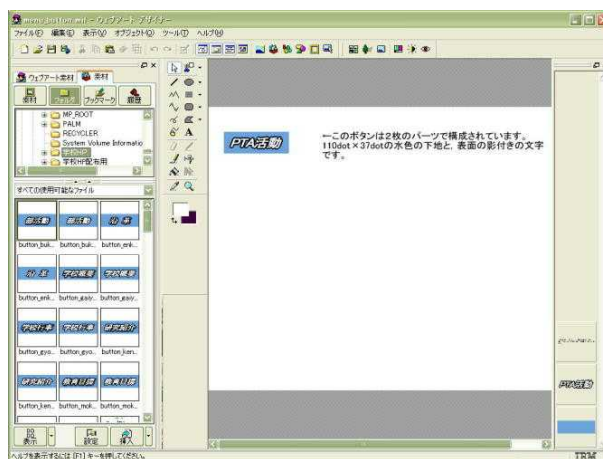
単純にボタン単体の作成なら、他の方法もあるのですが、ここでも、「ウェブアートデザイナー」を使用します。ウェブアートデザイナーで作成したボタンを「ウェブアートデザイナー形式のファイル」として保存するのではなく、「画像ファイル」として保存し、その画像ファイルをボタンとして使うわけです。「ひな形」で使用しているボタンは、すべて、ウェブアートデザイナーで作成しています。

「ひな形」フォルダには、あらかじめ、ウェブアートデザイナー形式で保存したボタン作成用ファイルを入れてありますので、それを使用します。

ア) 「ひな形」のボタン作成用ファイルを読み込む

[スタート] [すべてのプログラム] [IBM ホームページデザイナー 11] [ツール] [ウェブアートデザイナー]とたどるか、HPB を立ち上げておいてから、[ツール] [ウェブアートデザイナーの起動]を選択するか、「ひな形」(学校 HP)フォルダを表示させ、その中の、「menu_button.mif」ファイルをダブルクリックします。


いずれにしても、「menu_button.mif」を読み込むわけです。



「PTA 活動」とかかれたボタンが表示されていますが、このボタンは、下地の水色の四角と、上の「PTA 活動」という文字の2つのパーツで構成されています。文字を編集し、作りたい表示に変え、下地の水色の四角と合わせて、「Web 用保存ウィザード」を使って「画像」として「学校 HP 」フォルダに保存すれば、ボタンとして使えます。

イ)文字の編集

例えば、新しく「校舎案内」というページを作成ことにしたので、「校舎案内」というボタンを作成します。「PTA 活動」と表示されている文字をダブルクリックします。

右の図のようなウィンドウが表示されますので、「PTA 活動」という文字列を「校舎案内」に変更します。編集が終了したらを押して終了します。

以前の項目でもお伝えしましたが、ここでは、書体を変えたり、色や縁取り、影などの効果等、様々な装飾ができます。「ひな形」とは全く違うタイプのボタンを作成することも可能です。いろいろと挑戦してみてください。



ウ)画像で保存

水色の四角を囲むようにマウスでドラッグして選択します。右の図のようになり、背景の四角と上にある文字列が選択されています。ここで右クリックです。表示されるメニューの中から「Web 用保存ウィザード」を選択します。その後の展開は以前のページですでに解説していますので、ここでは省略します。ただ、画像形式を「GIF」形式にすることをお勧めします(サイズが小さくて済むからです)。保存する場合の名前は、半角英数で。保存先は、「学校HP」フォルダに、を忘れないでください。



エ)「menu.htm」を編集

新しいボタンを作成したら、「menu.htm」も編集する必要があります。新しいボタンを追加するのは、HPBで「menu.htm」を読み込んだら、表の枠を一つ追加し、その中に「挿入」[画像ファイル]を使ってボタンの画像を配置します。

もちろん、この場合、新たに「校舎案内」というページの作成も必要です。例えば、「校舎案内」のページを「annai.htm」というファイル名で保存したとしたり、ボタンを押したら校舎案内のページが表示されるようにリンクを張ることが必要です。(リンクの張り方については次節で。)

この作業をすることで、いろいろな表示のボタンを作成することができます。もちろん、「ひな形」のようなスタイルのボタン以外も作成できます。HPに統一感を持たせるためにも、一工夫してみてもいいかもしれません。

ウェブアートデザイナー
ウェブアートデザイナーは、かなり強力なツールです。文字や画像に対してたくさんの効果をつけることができます。学級通信の見出しのタイトルを作るためだけにウェブアートデザイナーを使っている先生も実在します。(笑)

(8)リンクの張り方

「リンク」の仕組みについて、簡単に触れておきます。

「リンク」という仕組みには、簡単に言うと、「ここ」をクリックしたら「別の動作」が発生するようにする、仕組みです。「ここ」のことを「リンク元」とも呼びます。「別の動作」のことを「リンク先」とも呼びます。


「リンク元」である「ここ」は、文字でも、画像ファイルでも、写真でも構いません。一般に、インターネットエクスプローラなどのブラウザでは、リンクが仕込まれている「リンク元」にマウスを重ねると、「指のマーク」のアイコンが表示されます。「ここ」をクリックしたら何かのアクションがありますよ、という意味です。

「リンク先」は、「リンク元」をクリックした結果発生する「何かのアクション」です。別のページが開く場合もあります。画像が表示される場合もあります。音楽が流れる場合もあります。別のサイトが表示されたり、メール送信画面にリンクすることもできます。インターネット上で発生する様々なイベントを設定することができます。

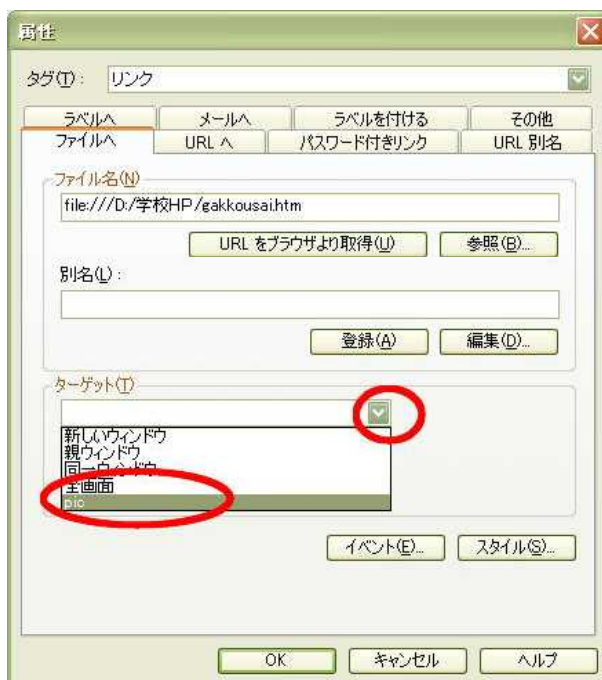
HPB では、「リンク元」に「リンク先」を仕込むことは簡単にできます。「リンク」を仕込みたい文字、画像、写真などを選択し(反転させ)、メニューバーの[挿入]「リンク」を選択し、必要な設定をすればOKです。

気を使いたいのが、「リンク先」です。リンクをクリックして次の動作が出現するときの設定をどのように決めるか。

例えば、リンク先が「Web ページ」や別のホームページの「URL アドレス」だったり、「PDF 形式のファイル」だったとしましょう。クリックされて新しい Web ページが開くときに、HPB では少なくとも4つの選択肢があります。すなわち、新しいウィンドウで開く 親ウィンドウで開く

同一ウィンドウで開く 全画面 さらに、「ひな形」では「pic」もあります。「学校 HP」では、基本的に、「写真ページ」以外は、の「同一ウィンドウで開く」で、問題はないかと思います。新しいウィンドウを選択すると、リンクをクリックする度に新しいウィンドウが表示され、HP を見ている人が HP を閉じたいときにたたくさんのを押さなくてはいけなくなります。

リンクについて、詳しいことは、マニュアルを参照してください。



■ 5 編集したホームページを確認する

今まで編集してきた学校 HP が、どんな風にパソコン上に表示されるのか。気になるところです。サーバーに公開(アップロード)する前にしっかり確認しておきたい物です。

(1)ブラウザで確認

HPB で編集してきたファイルは、基本的にはどれも、「htm 形式ファイル」ですので、インターネットエクスプローラや、Netscape など、インターネットのウェブページを見るためのソフトウェア(ブラウザと呼びます)がパソコンにインストールされていれば、サーバーにアップロードする前に、どんな風に表示されるのか確認することができます。

確認する方法は簡単です。「学校 HP」フォルダを表示し、その中の、「index.html」をダブルクリックするだけです。使っているパソコンのブラウザが起動し、ファイルが読み込まれ、表示されます。リンクをクリックして、設定どおりに表示されるかも確認しましょう。

ア)ブラウザの違いや OS の違いにも注意

ブラウザの多くは、「フリーウェア」として公開されています。「インターネットエクスプローラ」は Windows に標準で付いています。このほかにも、「Opera」や、「Netscape」など、実はブラウザにはいくつかの種類があります。各学校の HP 管理者は主なブラウザを自分の PC にインストールしてその表示を確認するべきです。「インターネットエクスプローラ」では表示できたページが「Opera」では右端が切れていた、とか、BGM が再生されなかったなど、良くあることです。

また、HP を見る人が、すべて Windows という OS を使っているとは限りません。「MacOS」を使っている人もいるわけですから、身近な人に Mac のパソコンを使っている人がいたらぜひ確認してもらいましょう。

このように、ブラウザには、いくつも種類があって、さらに、OS の違いでも表示のされ方が影響します。なるべく多くの可能性を試しておいた方が良いです。これも、Web 管理者の役割です。

イ)「Opera」や「Netscape」をインストール

より多くのブラウザで動作確認をするために、少なくとも、Windows のパソコンだったら、「Opera」や「Netscape」はインストールする必要があるでしょう。

インストールした上でどのように表示されるか確認をしなければなりません。

どちらもフリーウェアですので、インストールのためには、インターネットで検索をして該当ページからプログラムをインストールしてください。

(2) 「学校ホームページ」フォルダの中身を整理する

「ひな形」を「学校HP」というフォルダにコピーして編集してきました。このため、「学校HP」フォルダの中には、自分の学校のHPとは直接関係のないファイルや、HPBの「上書き保存」の結果作成される「バックアップファイル」、使っていない画像データなども含まれています。


これらもすべて公開(アップロード)してしまうことは、無駄なファイルをサーバーに送ることになりますので、あらかじめ削除しておきます。

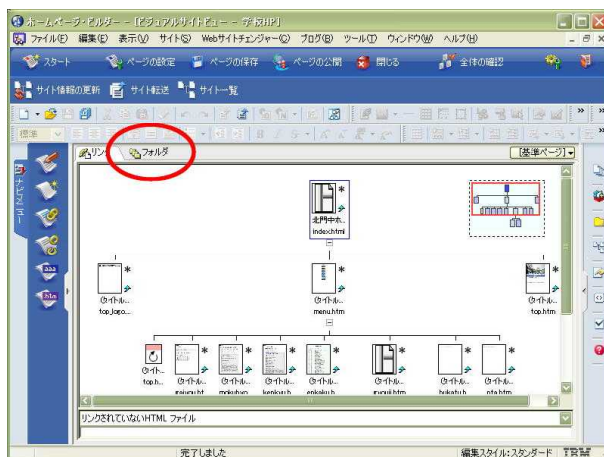
HPBでは、「サイト」(「学校HP」フォルダ)内の未使用のファイル一覧を簡単に表示することができます。ここで言う、「未使用のファイル」とは、HPに公開する一連のファイルのどれからもリンクが張られていないファイルを意味します。

このため、「ひな形」に含まれていたけど、後で使うだろうけど今は使わないファイルも表示されます。また、ウェブアートデザイナー形式で保存しているファイルもHPとは直接関係がないので、「未使用ファイル」になります。

ファイルを削除するときに、まとめて削除もできますし、一つずつ削除することもできますので、削除する前には良く確認してください。

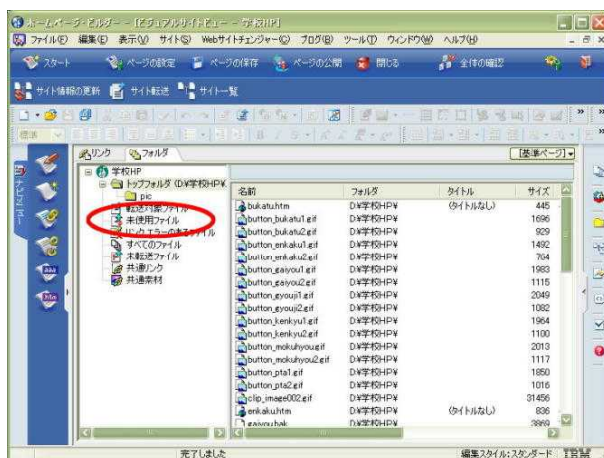
ア) 「未使用ファイル」の表示と削除

サイトを開き、ビジュアルサイトビューを表示します。ここで、右の図の  の部分の[フォルダ]タブをクリックします。

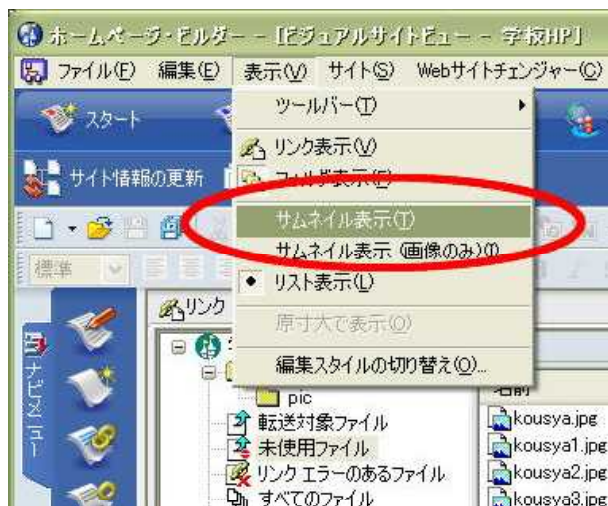


サイト内(「学校HP」フォルダ内)のファイルすべてが一覧が表示されます。少し下の「未使用ファイル」をクリックします。すると、画面右半分が「未使用のファイル」の一覧になります。

しかし、ファイル名だけ見ても、内容がよくわかりません。

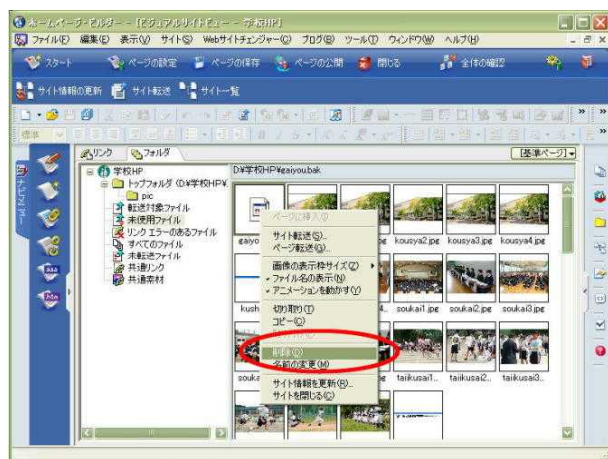


[表示] [サムネイル表示]をクリックします。



[サムネイル表示]にすると、ファイルの内容が視覚的にわかりやすいです。必要のないファイルを見つけたら、そのファイル上で右クリックし、そこに表示されるメニューの中から[削除]を選択します。

複数のファイルをまとめて削除したいときは、再び[リスト表示]に戻して、**Ctrl** キーを押しながらマウスでクリックします。



イ) 削除する判断のめやす

「ひな形」に含まれるファイルは、ファイルの「更新日付および時刻」が2006年の8月や9月に作成されたファイルです。(「リスト表示」で日付を確認できます。)これらは、削除しても、元の「ひな形」データがあれば、いつでも取り戻せます。

「拡張子」に注目してください。拡張子が「.bak」のファイルは、「バックアップファイル」ですので、基本的には削除して問題ありません。また、拡張子に「.gif」「.jpg」「.png」「.bmp」が付いている物は、「画像ファイル(デジカメデータ含む)」です。それらは、写真データとは限らず、例えば「ボタンの画像」だったり、「水色の線」の画像だったりします。

ファイル名はもちろん、拡張子や、ファイルの日付から判断して削除するファイルを決定してください。

IV ホームページの公開

一通り完成した HP を公開するために www サーバーにデータを転送する方法にはいくつかありますが、HPB では「サイト転送」という方法が簡単で便利です。「サイト転送」以外にも、「FTP (File Trance far Protocol) ツール」があります。

■ 1 編集したホームページを公開する(アップロードする)

作成した HP のデータやファイルは、学校外にある、「wwwサーバー」と呼ばれる、HP用のデータを保存する専用パソコンに「アップロード(転送)」しなければ他のパソコンから見ることはできません(公開されません)。言い換えれば、「中学校のHPを見る」ということは、「wwwサーバー内にある 中学校のHPデータを自分のパソコンに読み込む」という作業をすることになります。

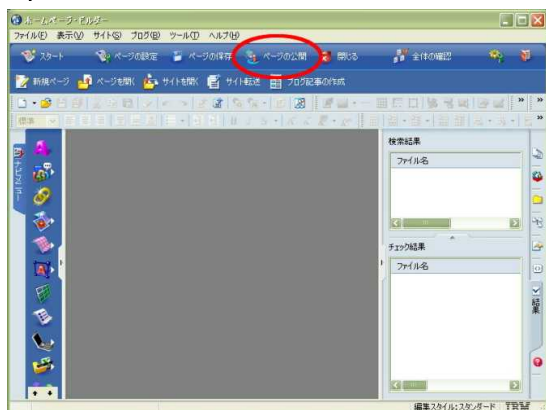
旭川市の場合、「ケーブルテレビポテト」の建物の中に学校インターネットの wwwサーバーがあります。

wwwサーバーの名前は、学校毎に決まっており、例えば、北門中学校では、「www.hokumon.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp」となっており、下線の部分が学校によって違います。また、アップロードするために wwwサーバーに接続するには、この「wwwサーバー名」と「管理者POPアカウント」、その「パスワード」が必要になります。管理者POPアカウントとパスワードは、学校毎に管理することになっていますので、それぞれの学校のPC管理者または NET 管理者に確認してください。

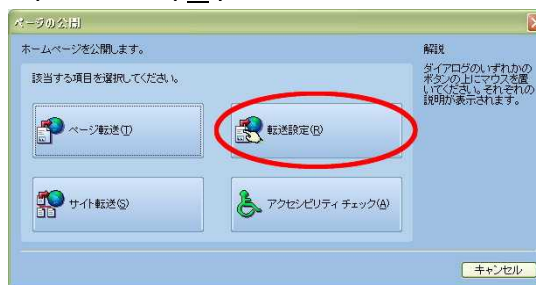
(1) 転送の設定

「ひな形」をもとに新しく HP を作成した場合や、新たに「HPB」を導入した場合は、アップロードする前に「HPB」上で「転送設定」をしておく必要があります。そのための設定をします。

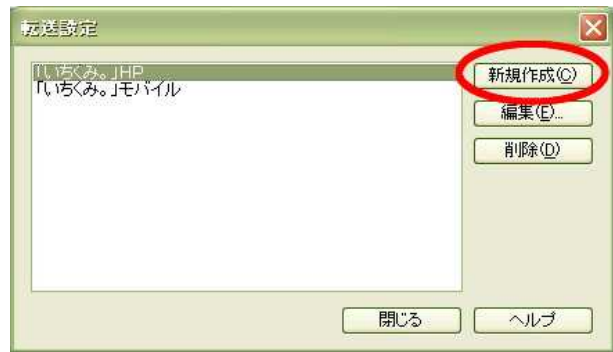
ア) 「ページの公開」をクリックします。



イ) 転送設定 (R) をクリックします。



ウ)新規作成をクリックします(すでに存在する転送設定が表示されています。)



エ)新しい転送設定名を入力します。(付け方は自由)「次へ」進みます。

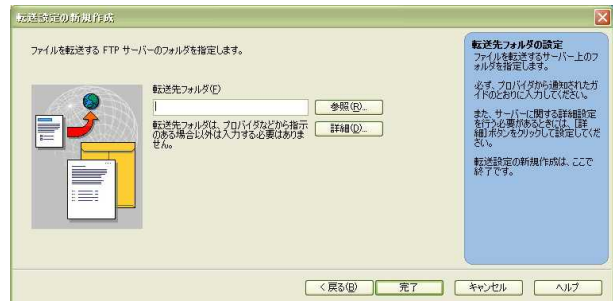


オ)「プロバイダの選択」は「その他」を選びます。

「FTP サーバー名」には前述の「wwwサーバー名」を入力します。「FTP アカウント名」には「管理者POPアカウント名」、「FTP パスワード」には管理者POPアカウントのパスワードを入力します。(パスワードは****等と*印で表示されます) 次へを押します。



カ)「転送先フォルダ」は何も設定せず、「完了」を押します。



キ)これで転送先の設定が完了します。

転送をするための準備ができました。

(2)初めての公開（または「ひな形」を編集したデータとの差し替え）

いよいよ公開(アップロード)します。

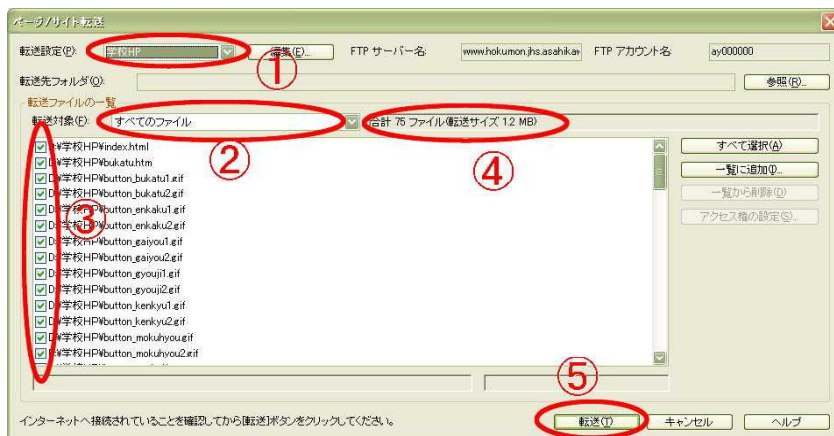
ア)「サイト転送」をクリック

メニューボタンの[サイト転送]、[ページの公開]、[サイト転送ボタン]のどれからも転送することができます。



イ)内容を確認し転送

の転送設定が学校 HP 用になっていることを確認。は「すべてのファイル」になっていることを確認。は転送ファイルの一覧。転送する必要がない物はチェックをはずす。でファイル数と転送サイズを確認。良ければ [転送] ボタンをクリック。



ウ)エラーの時

接続できません、とか、失敗しましたなどのエラー表示が出るときは、転送の設定をもう一度やり直します。アカウント名や、パスワードなどが正しいでしょうか？ 使っているパソコンを再起動したら接続できるようになる場合もあります。

エ)ブラウザで確認

転送が完了したら、実際にブラウザを使ってネットに接続し、HP を見てみましょう。ちゃんと表示されたら、感慨もひとしおです。

学校 HP の学校毎のアドレスは、例えば北門中学校であれば、

<http://www.hokumon.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp/>

です。hokumon.jhs のところが、学校によって変わります。

ブラウザのアドレス入力欄にアドレスを入力し、ちゃんと表示されるようなら、さっそく「お気に入り」に追加しましょう。

上のアドレスを入力したにもかかわらず、トップページが表示されない場合は、転送したトップページのファイル名が、「index.htm」になっている可能性があります。サーバーの規則で、トップページで表示するファイル名は、「index.html」でなければいけない決まりがあります。(拡張子の最後が htm ではなく、html)

この場合は、ファイル名を変更して、もう一度トップページだけ(index.html)を転送してください。

index.html : トップページに指定するこのファイル名には特別な意味があります。
<http://www.hokumon.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp/> は、ある意味「フォルダ」とも言えますが、このフォルダには他にもたくさんさんのファイルがある中、index.html を優先的に表示させるためのファイル名なのです。「このフォルダの中に index.html があれば、まず最初にそれを表示しなさい」という優先順位があるのです。これは、プロバイダーやサーバーによって優先順位が違場合があります。

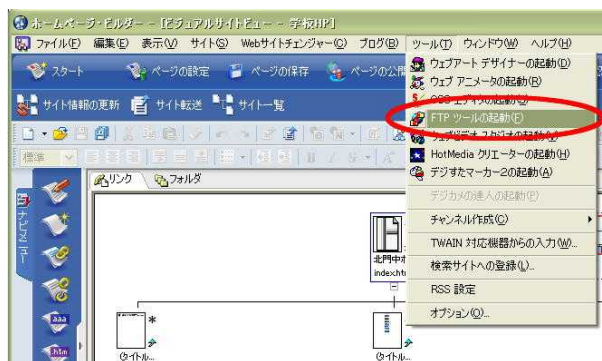
(3) 「FTP ツール」を使ったサーバー上のファイルの管理

(2)初めての公開 では、「サイト転送」というボタンをクリックしてファイルの転送をしました。これは、こちらから一方的にサーバーに転送するだけで、サーバーのフォルダ内の様子はわかりません。HP を公開した後は、「今、サーバーにはどんなファイルがあるのか確認したい」「このファイルを削除したい」などと言った必要も出てきます。そのような場合のために HPB には、「FTP ツール」というプログラムが付属しています。この、「FTP ツール」について、触れておきます。

ftp : file transfer protocol の略です。「ファイル転送の手順」と訳されますが、ファイルをインターネットなどの通信回線を通じてサーバーに転送する手順や約束のことです。それを簡単にするためのツールが ftp ツールです。

ア) 「FTP ツール」を起動する

「FTP ツール」は、サイトを開いている状態で、メニューバーの[ツール] [FTP ツールの起動]で表示されます。

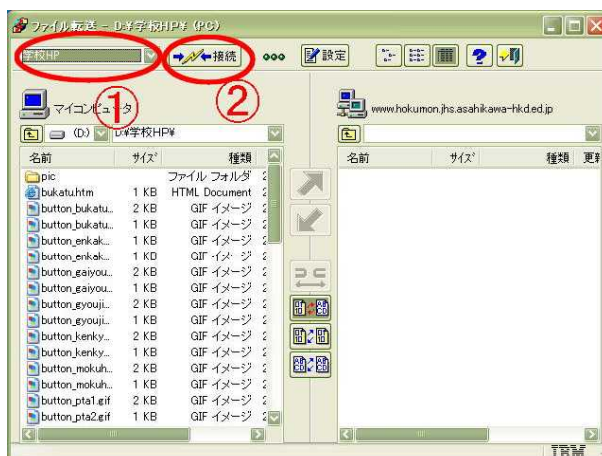


イ) FTP ツールの画面

「FTP ツール」の画面です。 で、接続設定を確認し(サイト転送の時の設定がそのまま使われます)、 の接続ボタンを押すと、サーバーに接続します。

画面左半分には、こちらの PC に保存されているファイルの一覧が表示されています。

接続が完了すると、画面右半分にサーバーに保存されているファイルの一覧が表示されます。



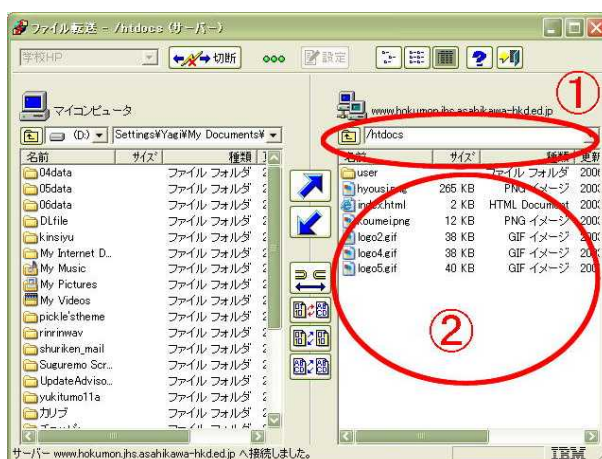
ウ) 接続完了

接続が完了すると、右半分には、サーバー上にあるファイルが表示されます。

は、サーバー上のフォルダ名を示しています。「/htdocs」になっていることを確認してください。

の部分にサーバー上のファイル一覧が表示されます。ここでは、それぞれのファイルをクリックして、「名前の変更」や「ファイルの削除」など、サーバー上のファイルの管理を行うことができます。

操作が終わったら、[切断]ボタンをクリックします。



V ホームページの管理

■ 1 ホームページの更新作業

HP は一度開設すればそれで終わり、ではありません。新しい情報を付け加えたり、古い情報を削除したりする「更新作業」が必要です。HP を見る人にとっても、前回見たときより今回新しい情報が増えていることは、「また今度も見てみよう」という意識付けになります。何より、「いつ見ても変わりなし。」のページは、やがて誰も見なくなります。

HP を継続して見てもらうためにも、定期的に、あるいは何か行事がある度に「更新作業」が必要です。

常に更新作業を続けるために、「HP 管理者」は、学校行事や学年の動きを把握しておく必要があります。そして、必要に応じて、行事などの写真をデジカメで撮影したり、「今、 年生ではこんな取り組みをしている」ということをチェックしておく必要があります。

そうして収集した情報がある程度たまってきたら（あるいは一つでも新しい情報が手に入った）、「更新作業」です。担任の先生が学級通信を発行するのと似ています。

(1)更新のタイミング

そうして情報収集をしていれば、おのずと更新のタイミングは見えてきます。具体的には、何かの行事が終わった後、学校や学年の節目(ふしめ)の時等です。行事が終了した、あるいは節目となった日から、なるべく日を開けないで更新することが良いでしょう。

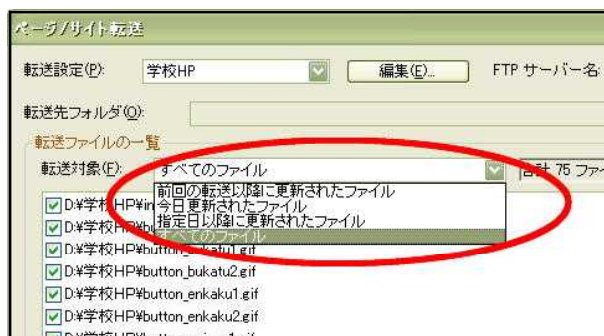
また、そのようなタイミングで更新をしていれば、おそらく HP の読者のほとんどをしめるであろう「保護者の皆さん」も、「行事が終わったから見てみるかな」と言う気になるものです。それが、読者の間で、「 学校のHP、見た？」の写真、HPに出たよ。」的に口コミで広がり、より閲覧回数の多いページになっていきます。

そのためにも、「更新作業」は大変重要なことです。

(2)作成済みのページを更新

「教育目標」や、「研究紹介」等のページは年度の途中で変更することはほとんどないと思われます。したがって、年度の切り替わりなどのタイミングで更新すればよいのです。そのときは、更新したいページが「教育目標」のページであれば、HPBでサイトを開き、「mokuhyou.htm」を読み込み、新しく変更し、上書き保存し、変更したファイルをサーバーにアップロードします。

この時、サイト転送の画面で、[転送対象]を ボタンをクリックして一方で、「行事予定」ページに掲載して 前回の転送以降に更新されたファイル 今日更新されたファイル 指定日以降に更新されたファイル すべてのファイル から選ぶことができるので大変便利です。



このようにして、すでにあるファイルの更新をすることができます。

(3)新たにページを作成して更新

例えば、「学校行事」に記載されている行事が終了し、デジカメの写真もあるし、というような場合、新たにページを作って公開することもできます。

ア)その行事の写真集を作成

4 (6) カ)の説明を元に、行事写真集のページを新たに作成します。名前をつけて保存をクリックして、ファイル名は覚えておきます。仮に、このファイル名を「nyuugaku1.htm」とします。

イ)リンクの設定

「schedule.htm」を編集します。行われた行事の文字列にリンクを挿入します。文字列を反転させて「リンクの挿入」です。リンク先は上記で作成したファイル名を指定します。(ターゲットは「pic」を設定。)

「schedule.htm」を上書き保存したら、ブラウザを使って、表示の確認をします。行事名をクリックしたら写真が表示されるはずですが。

ウ)ファイルを転送

前回の転送以降に更新されたファイル、で選択してアップロードします。その中には、「nyuugaku1.htm」も、含まれているはずですが。

■ 2 校内分掌の中での引き継ぎ

人事異動などで HP 管理者が変更になる場合は、必ず、次の事項を引き継いでください。

- ・学校 HP の、原板ファイル(サーバーにアップしたもの)
- ・www サーバー名
- ・POPアカウント名
- ・POPアカウントパスワード

これらがないと、学校HPが管理できません。

逆に言えば、これらのことがあれば、他のデータがなくても、何とかHPを維持管理できます。

VI ホームページの仕組みについて

■ 1 ホームページとは

インターネット上に公開されている情報は、縦スクロールや横スクロールが必要な場合もありますが、基本的にある話題についての情報が一つの画面の中に収まるように作られているのが一般的です。この一つの画面のことを「ページ」とよびます。書籍の「ページ」と少々違います。書籍のページは内容の如何に関わらず、一定の紙面が尽きたら、つぎのページをめくります。インターネット上のページは、スクロールすることができる(画面上に収まらなくても、上下、左右に見る範囲を移動できる)ので、その話題が掲載されている一枚の画面全体を「ページ」と呼びます。

この一枚の画面全体を、書籍と区別するために「Web (ウェブ)ページ」と呼ぶこともあります。

例えば「 中学校の HP 」を探すとき、yahoo!や Google などを使って「 中学校」というキーワードで検索をし、発見します。 中学校 という部分をマウスでクリックすると、「ようこそ! 中学校 HP へ」なんて表示されます。この時、この、最初に表示される「入り口」ページを、正確には(狭義の意味で)「ホームページ」(あるいは「トップページ」と呼びます。

「ホームページ」には、たいていの場合、「メニュー」があって、そこをクリックすると、「沿革」のページや「部活動紹介」のページや、「PTA 活動」のページへジャンプして表示できます。これらの、「 」のページが、それぞれ「Web ページ」です。メニューから別のページにジャンプできるように仕掛けをすることを「リンクを貼る」と呼びます。

そして、「 中学校」の入り口のページや、そこからリンクされているページも含め、「 中学校」関係のページすべてを指して(広義の意味で)「ホームページ」と呼ぶこともあります。

「HPB」では、この広義の意味での「ホームページ」(「 中学校」のすべてのページ)を「サイト」と呼びます。「 中学校」で公開している「Web ページ」の「集合体」を「サイト」と呼びます。サイトは様々な種類のファイルで構成されます。画像ファイルやHTMLファイル(後述)、場合によっては音声ファイルや動画ファイルを置くこともあるかも知れません。

あるサイトの中で、最初に表示される「入り口」ページ(ホームページ)は、そのサイトの中の他の Web ページとは別格です。例えば、「部活動紹介」のページをホームページ・ビルダーで作成し、「bukatu.htm」というファイル名で保存し、ネットにも公開します。PTA のページなら、「pta.htm」という具合に。

けれどメニューを含む、「最初のページ」には、ファイル名の付け方の約束があって、「index.htm!」(または、「index.htm」)という名前のファイルにしなければなりません。「index」と名の付いたファイルが(狭義の意味での)ホームページ(トップページ:最初に表示されるページ)になるわけです。

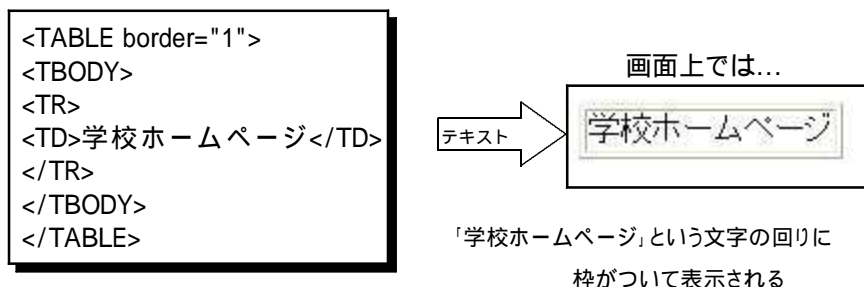
HP の仕組みや、詳しいことに関しては、「ホームページ・ビルダー」のマニュアルにも記載されています。どうぞそちらをご覧ください。(Ver.10 のマニュアルでは p.32 以降, Ver.11 では p.60 以降)

■ 2 HTML 言語で書かれている…

ホームページのデータは「HTML ファイル」

PC で気軽に見ることができる HP ですが、その実態は「HTML 言語」で記述された(書かれた)テキスト(文字だけの)ファイルです。その文字だけの羅列の中に、例えば、「ここには別に保存してある image01.jpg という画像ファイルを表示しなさい。」という意味の記述があるわけです。

次の図の7行の文字データが、インターネットエクスプローラなどのWEB閲覧ソフトを使うと右のように表現されます。



HTML 言語で記述されたファイルの一部

HTML 言語の詳細について、ここでは説明を避けます。詳しく知りたい方は、書店などで関連書籍を探してみてください。ホームページ・ビルダーを使うと、HTML 言語の存在を意識せずに、ワープロ感覚で HP を作成することができます。(もちろんホームページ・ビルダーでは、上級者向けに HTML で編集するモードも備わっています。)

■ 3 掲載して良いもの・悪いもの

HP では様々な形態のファイルを公開することができます。「文字」、「写真データ」、「画像データ」、「動画データ」、「音声データ」...。「ひな形」をもとに各学校の HP を作成・更新していくわけですが、自分の学校の HP に何を載せて良いのか、何は載せたらいけないのか、十分に注意する必要があります。最近では、児童・生徒が簡単に HP や BLOG を作成できるサービスがあり、その HP や BLOG の「誹謗・中傷」が問題になったりしています。当然、「学校」が HP で「情報を発信」する以上、その発信する内容については、十分にプライバシーや、個人情報、公共性について吟味する必要があります。

■ 4 ガイドライン

すでに HP を発信している学校や校内 LAN を使用している学校には、何は良くして何はいけないのかを明記した「ガイドライン」を作成している場合もありますので、PC 管理者の先生に確認してください。

また、「旭川市教育用ネットワーク推進会議」では、特にそのような「ガイドライン」を設けていない学校や、「ガイドライン」が曖昧な学校のために、本書とは別に「旭川市教育用ネットワーク推進会議版ガイドライン」を作成しておりますのでそちらを参考にしてください。

今後は、各学校で定めたガイドラインに則った形で HP の運用がされていくこととなります。

例えば学校のHPに個人名が掲載されるようなことがあってはいけません。その内容が、「大会第1位」のように個人を褒める・たたえる内容であっても、です。また、行事の写真をHP上に掲載するとき、個人の顔がはっきりわかるような写真は避けるべきです。ネームプレートが写っていない写真でも、知っている人が見ると、「これ、だ！」とわかるような写真は載せるべきではないと考えられます。行事の雰囲気を伝えつつ、個人情報の保護のために、写真を加工する(ぼかす、縮小する)ことも必要になるかも知れません。

飽くまでも(公的機関である)学校のHPであり、そこで発信される内容ですから、個人で開設しているHPやBLOGとは根本的に違う、という認識に立たなければなりません。

■ 5 メールアドレス、掲示板やBLOGについて

メールアドレス

ホームページの最初の画面(Top ページ)に、「学校のメールアドレス」を載せるかどうかは、学校で判断する必要がありそうです。HPにメールアドレスを載せると言うことは、学校のメールアドレスを全世界に公表することになります(世界版の電話帳に載るようなものです)。当然、外国からのメールも来るかも知れません。「迷惑メール」(アダルトや勧誘など)も来ると思います。

メールアドレスをHPに載せることは、それらとの対応を迫られます。管理者がこまめにチェックして、いらないメールは削除、あるいは受信拒否ができるような場合は、公開しても構わないでしょう。それが難しい場合には、例えば学校代表メールアドレスでもHPで公開しない方が無難です。

ただ、例えば転入予定者からメールが来ることがあります。卒業生から懐かしさのあまりメールが来ることもあります。メールアドレスの公開には一考を要します。

掲示板やBLOG

ネット上で気軽に書き込みができる掲示板(BBS)や、最近流行のBLOG(日記風掲示板)は、基本的には学校HPのサーバーには設置できません。